

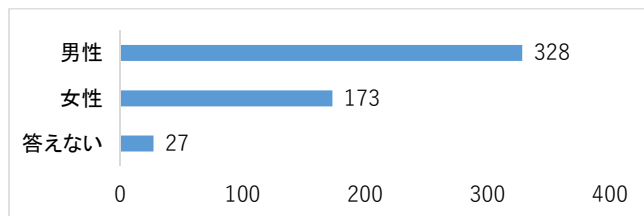
## 第4回企業内弁護士キャリアパス調査（2024年実施）回答結果（単純集計）

【対象者数】 3,392名

【回答者数】 528名（回答率） 15.57%

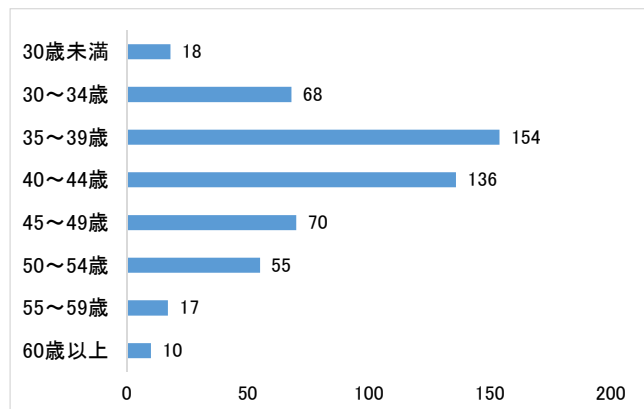
## Q1 あなたの性別をお答えください。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
男性	328	62.1
女性	173	32.8
答えない	27	5.1



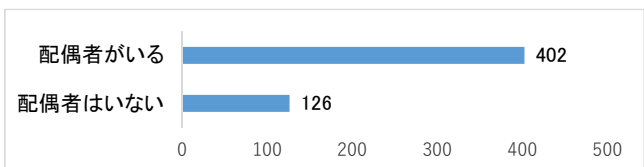
## Q2 あなたの年齢をお答えください。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
30歳未満	18	3.4
30～34歳	68	12.9
35～39歳	154	29.2
40～44歳	136	25.8
45～49歳	70	13.3
50～54歳	55	10.4
55～59歳	17	3.2
60歳以上	10	1.9



## Q3 現在、配偶者（事実婚・パートナーシップを含む）の方がいらっしゃいますか。

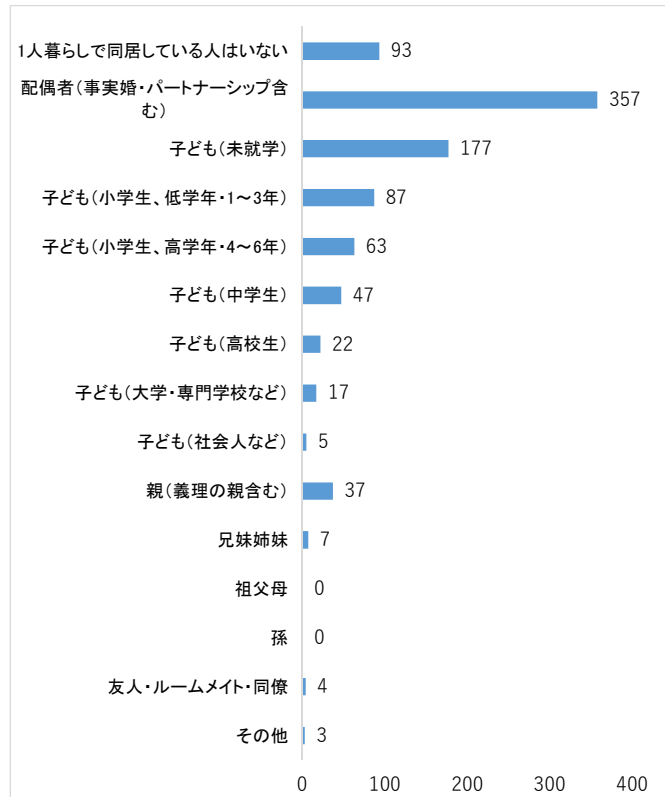
	度数	%
TOTAL	528	100.0
配偶者がいる	402	76.1
配偶者はいない	126	23.9



**Q4 現在同居している人を、次の中からすべてお選びください。**

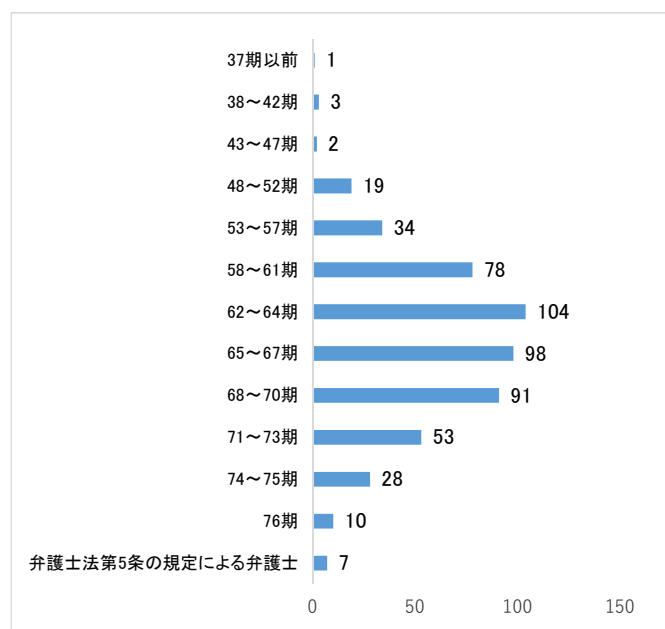
	度数	%
TOTAL	528	—
1人暮らしで同居している人はいない	93	17.6
配偶者（事実婚・パートナーシップ含む）	357	67.6
子ども（未就学）	177	33.5
子ども（小学生、低学年・1～3年）	87	16.5
子ども（小学生、高学年・4～6年）	63	11.9
子ども（中学生）	47	8.9
子ども（高校生）	22	4.2
子ども（大学・専門学校など）	17	3.2
子ども（社会人など）	5	0.9
親（義理の親含む）	37	7.0
兄妹姉妹	7	1.3
祖父母	0	0.0
孫	0	0.0
友人・ルームメイト・同僚	4	0.8
その他	3	0.6

※その他詳細省略



**Q5 修習期をお答えください。**

	度数	%
TOTAL	528	100.0
37期以前	1	0.2
38～42期	3	0.6
43～47期	2	0.4
48～52期	19	3.6
53～57期	34	6.4
58～61期	78	14.8
62～64期	104	19.7
65～67期	98	18.6
68～70期	91	17.2
71～73期	53	10.0
74～75期	28	5.3
76期	10	1.9
弁護士法第5条の規定による弁護士	7	1.3



◆あなたのこれまでの経歴についてお聞きします。

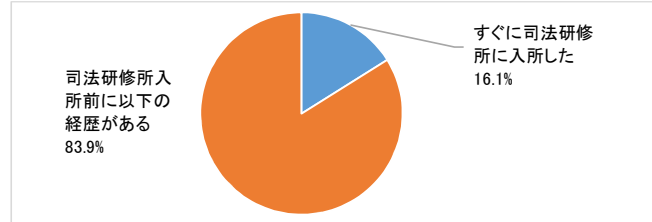
大学卒業後、司法研修所入所前までの経歴についてお聞きします（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、大学卒業後、5条研修受講前までの経歴についてお答えください。）。

**Q6 あなたが経験した経歴等について当てはまるものすべてについて、在籍・在職期間を教えてください。**

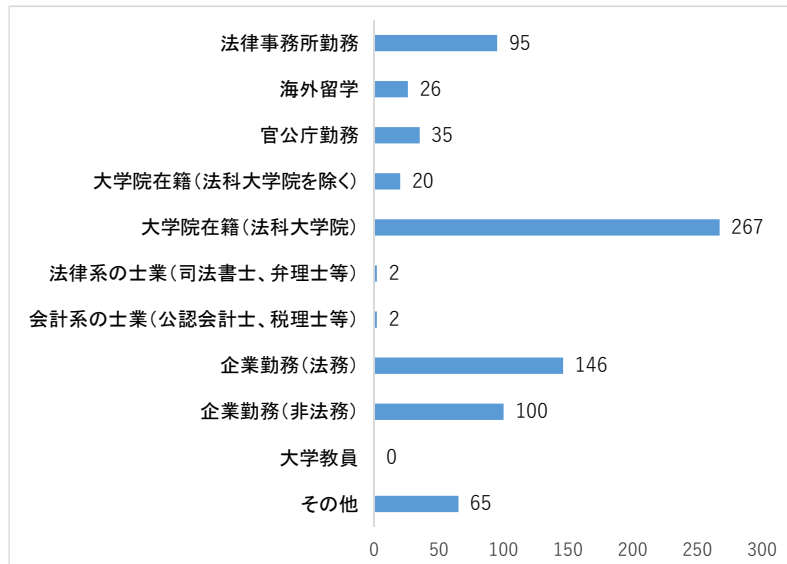
※在籍・在職期間回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

※すぐに司法研修所に入所された方は、「すぐに司法研修所に入所した」をお選びください。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
すぐに司法研修所に入所した	85	16.1
司法研修所入所前に以下の経歴がある	443	83.9



法律事務所勤務	95
海外留学	26
官公庁勤務	35
大学院在籍（法科大学院を除く）	20
大学院在籍（法科大学院）	267
法律系の士業（司法書士、弁理士等）	2
会計系の士業（公認会計士、税理士等）	2
企業勤務（法務）	146
企業勤務（非法務）	100
大学教員	0
その他	65



※Q6-2 その他詳細省略

期間	法律事務所	海外留学	官公庁勤務	大学院在籍（法科大学院を除く）	大学院在籍（法科大学院）
1～12か月	20	13	2	3	7
13～24か月	17	11	10	12	147
25～36か月	10	2	6	2	104
37～48か月	8	0	4	2	6
49～60か月	8	0	2	0	2
61～72か月	7	0	1	0	0
73～84か月	7	0	2	0	0
85～96か月	3	0	3	1	0
97～108か月	3	0	2	0	0
109～120か月	6	0	0	0	0
121か月以上	6	0	3	0	1
合計	95	26	35	20	267

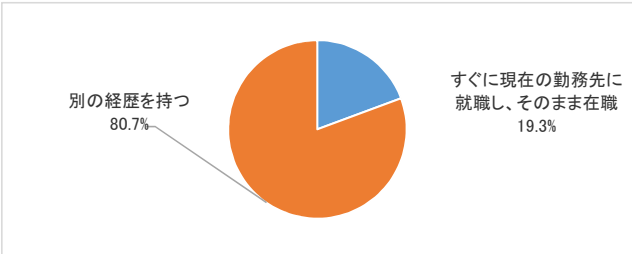
期間	法律系の士業（司法書士、弁理士等）	会計系の士業（公認会計士、税理士等）	企業勤務（法務）	企業法務（非法務）	大学教員	その他
1～12か月	0	0	8	10	0	19
13～24か月	0	0	13	12	0	14
25～36か月	0	0	17	13	0	9
37～48か月	0	0	19	8	0	9
49～60か月	0	1	12	10	0	9
61～72か月	1	0	11	8	0	4
73～84か月	0	0	5	7	0	0
85～96か月	1	0	13	3	0	0
97～108か月	0	0	7	5	0	1
109～120か月	0	0	12	5	0	0
121か月以上	0	1	29	19	0	0
合計	2	2	146	100	0	65

司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴についてお聞きます（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴についてお答えください。）。

### Q7 あなたが経験した経歴等について、当てはまるものをすべてお選びください。

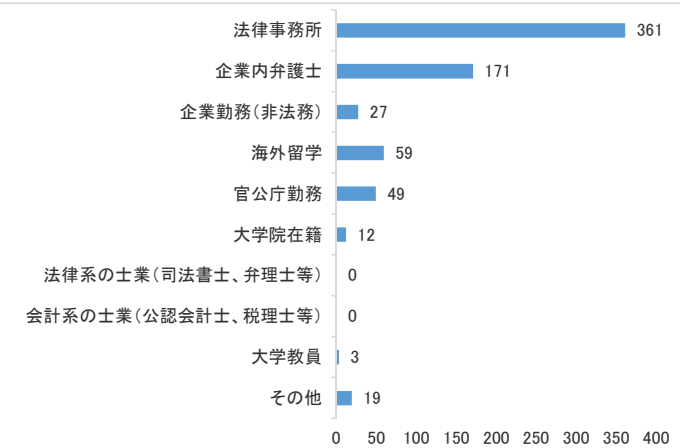
※すぐに現在の勤務先企業に就職し、その後出向等で他の勤務先に一時在籍した後に、現在の勤務先に復帰された方は、「すぐに現在の勤務先に就職し、そのまま在籍」をお選びいただいた上で、「現在の勤務先に就職する前に別の経歴がある」から経験した経歴等をお選びください。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
すぐに現在の勤務先に就職し、そのまま在職	102	19.3
別の経歴を持つ	426	80.7



法律事務所	361	68.4
企業内弁護士	171	32.4
企業勤務（非法務）	27	5.1
海外留学	59	11.2
官公庁勤務	49	9.3
大学院在籍	12	2.3
法律系の士業（司法書士、弁理士等）	0	0.0
会計系の士業（公認会計士、税理士等）	0	0.0
大学教員	3	0.6
その他	19	3.6

※その他詳細省略



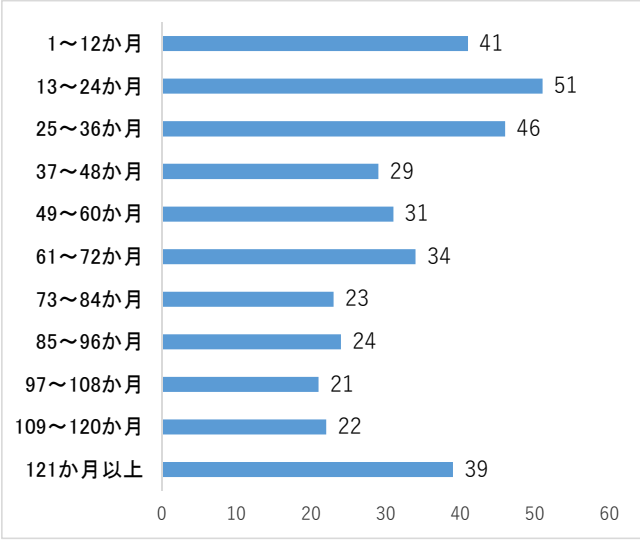
司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは「法律事務所」に勤務したとお答えになりました。

### Q8 法律事務所での経験期間をお答えください。

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

※なお、複数の法律事務所に勤務した経験のある方は、合計の月数をお答えください。

期間	度数	%
1～12か月	41	11.4
13～24か月	51	14.1
25～36か月	46	12.7
37～48か月	29	8.0
49～60か月	31	8.6
61～72か月	34	9.4
73～84か月	23	6.4
85～96か月	24	6.6
97～108か月	21	5.8
109～120か月	22	6.1
121か月以上	39	10.8
合計	361	100.0

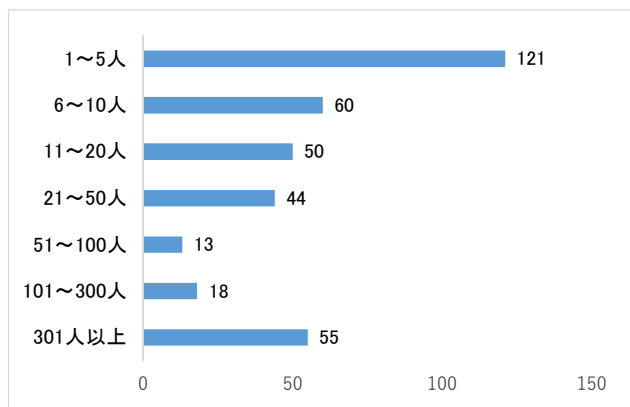


**Q8-2 法律事務所の所属弁護士数（あなたを含めて・日本の弁護士に限る）についてお答えください。**

※なお、複数の法律事務所に勤務した経験のある方は、所属期間の最も長い法律事務所の人数をお答えください。

※弁護士法人等に所属していた場合には、勤務していた支店等の人数をお答えください。

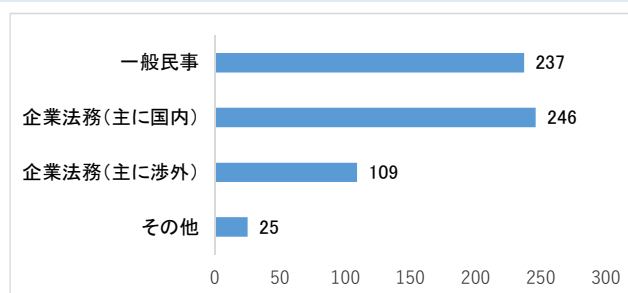
	度数	%
TOTAL	361	100.0
1～5人	121	33.5
6～10人	60	16.6
11～20人	50	13.9
21～50人	44	12.2
51～100人	13	3.6
101～300人	18	5.0
301人以上	55	15.2



**Q8-3 法律事務所での勤務内容について、当てはまるものをすべてお選びください。**

	度数	%
TOTAL	361	—
一般民事	237	65.7
企業法務（主に国内）	246	68.1
企業法務（主に渉外）	109	30.2
その他	25	6.9

※その他詳細省略



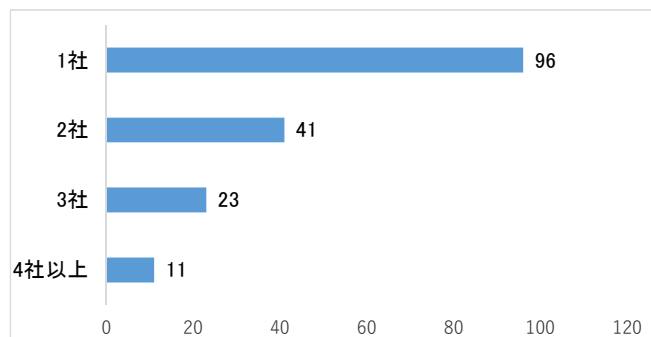
司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修修了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは「企業内弁護士」として勤務したとお答えになりました。

### Q9 現在の勤務先企業に勤める前に在籍した企業数、在籍期間を教えてください。

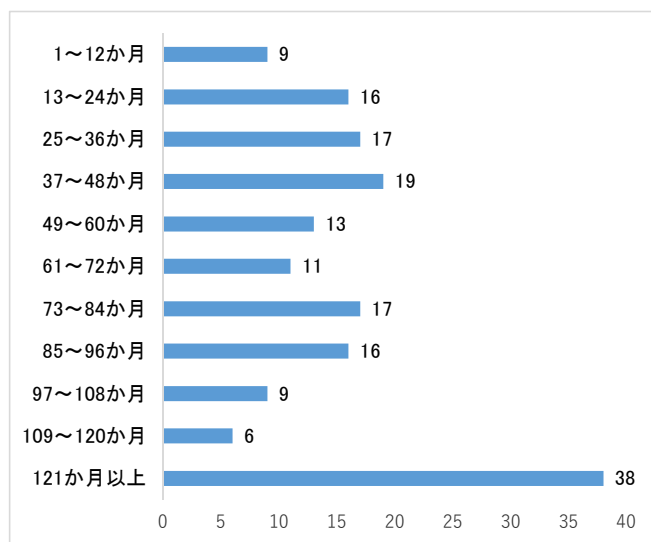
※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

※なお、複数の企業に在籍（出向含む）された方は、在籍期間は合算してご記入ください。

企業数	度数	%
TOTAL	171	100.0
1社	96	56.1
2社	41	24.0
3社	23	13.5
4社以上	11	6.4
平均値	1.8	—
中央値	1.0	—

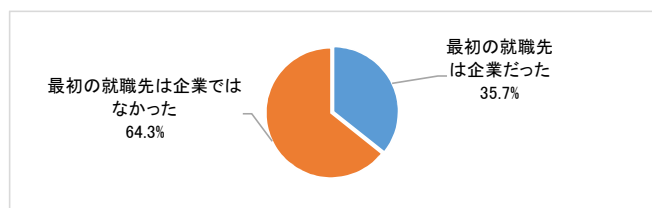


期間	度数
1～12か月	9
13～24か月	16
25～36か月	17
37～48か月	19
49～60か月	13
61～72か月	11
73～84か月	17
85～96か月	16
97～108か月	9
109～120か月	6
121か月以上	38
合計	171



### Q9-2 司法修習終了後最初の就職先は企業でしたか。

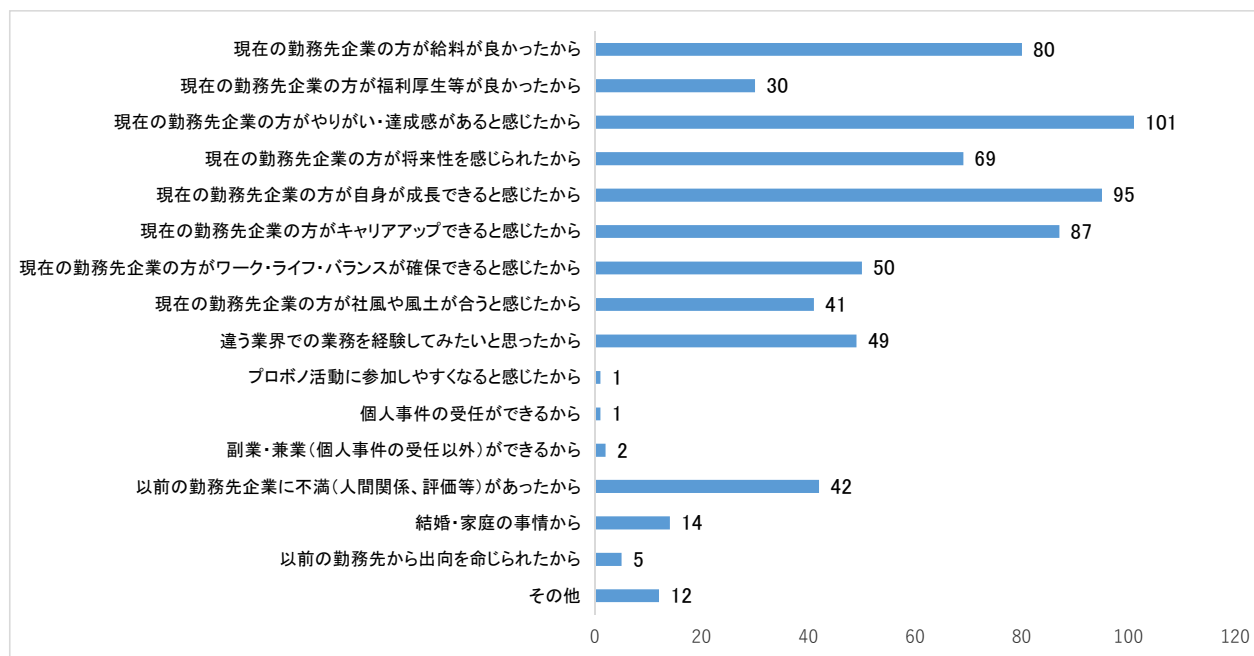
	度数	%
TOTAL	171	100.0
最初の就職先は企業だった	61	35.7
最初の就職先は企業ではなかった	110	64.3



**Q9-3 以前の勤務先企業から現在の勤務先企業へ転職・転籍された理由を、いくつでもお選びください。**

	度数	%
TOTAL	171	—
現在の勤務先企業の方が給料が良かったから	80	46.8
現在の勤務先企業の方が福利厚生等が良かったから	30	17.5
現在の勤務先企業の方がやりがい・達成感があると感じたから	101	59.1
現在の勤務先企業の方が将来性を感じられたから	69	40.4
現在の勤務先企業の方が自身が成長できると感じたから	95	55.6
現在の勤務先企業の方がキャリアアップできると感じたから	87	50.9
現在の勤務先企業の方がワーク・ライフ・バランスが確保できると感じたから	50	29.2
現在の勤務先企業の方が社風や風土が合うと感じたから	41	24.0
違う業界での業務を経験してみたいと思ったから	49	28.7
プロボノ活動に参加しやすくなると感じたから	1	0.6
個人事件の受任ができるから	1	0.6
副業・兼業（個人事件の受任以外）ができるから	2	1.2
以前の勤務先企業に不満（人間関係、評価等）があったから	42	24.6
結婚・家庭の事情から	14	8.2
以前の勤務先から出向を命じられたから	5	2.9
その他	12	7.0

※その他詳細省略



司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修修了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは以下を経験したとお答えになりました。

**Q10 あなたが経験した経歴の在籍・在職期間をお答えください。**

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

※なお、同一のキャリアに対して、複数在籍された方は、在籍期間は合算してご記入ください。

期間	企業勤務 (非法務)	海外留学	官公庁勤務	大学院在籍	法律系の士業 (司法書士、弁理士等)	会計系の士業 (公認会計士、税理士等)
1～12か月	5	26	4	5	0	0
13～24か月	1	27	17	4	0	0
25～36か月	3	6	8	1	0	0
37～48か月	4	0	5	2	0	0
49～60か月	3	0	6	0	0	0
61～72か月	2	0	2	0	0	0
73～84か月	2	0	3	0	0	0
85～96か月	0	0	0	0	0	0
97～108か月	2	0	2	0	0	0
109～120か月	1	0	0	0	0	0
121か月以上	4	0	2	0	0	0
合計	27	59	49	12	0	0

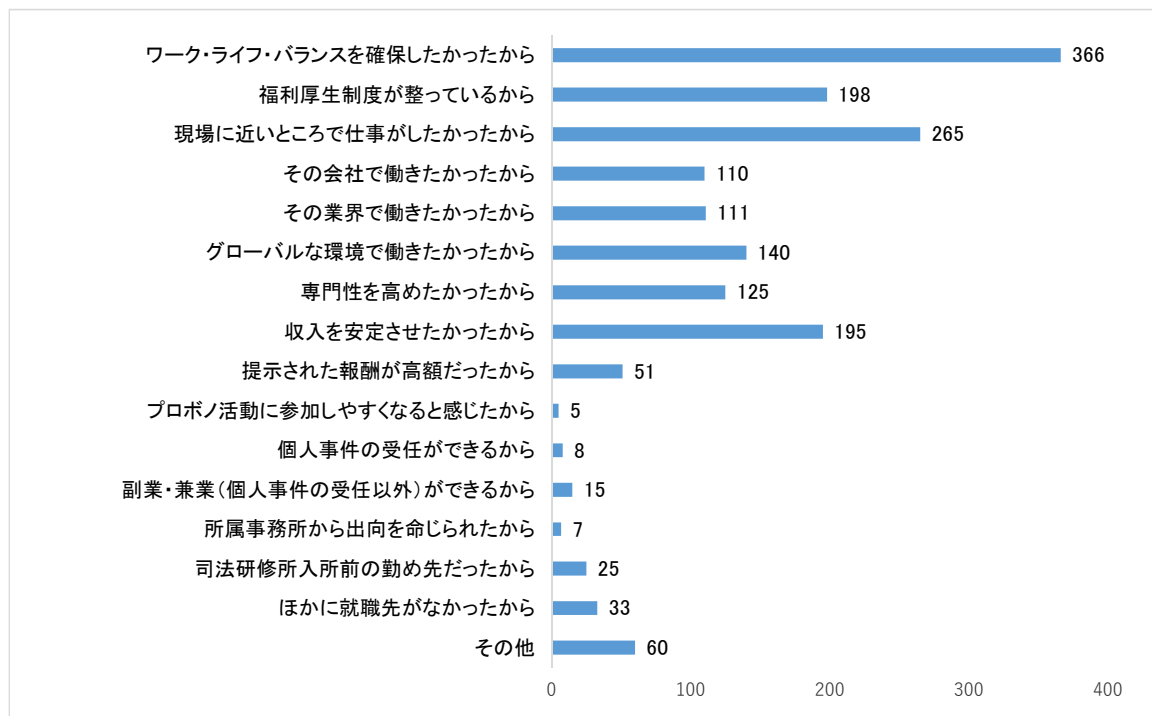
期間	大学教員	その他
1～12か月	0	2
13～24か月	0	0
25～36か月	0	2
37～48か月	1	4
49～60か月	0	1
61～72か月	0	3
73～84か月	0	1
85～96か月	1	0
97～108か月	0	1
109～120か月	1	2
121か月以上	0	3
合計	3	19



**Q11 あなたが企業内弁護士を選んだ理由を、いくつでもお選びください。**

	度数	%
TOTAL	528	—
ワーク・ライフ・バランスを確保したかったから	366	69.3
福利厚生制度が整っているから	198	37.5
現場に近いところで仕事をしたかったから	265	50.2
その会社で働きたかったから	110	20.8
その業界で働きたかったから	111	21.0
グローバルな環境で働きたかったから	140	26.5
専門性を高めたかったから	125	23.7
収入を安定させたかったから	195	36.9
提示された報酬が高額だったから	51	9.7
プロボノ活動に参加しやすくなったと感じたから	5	0.9
個人事件の受任ができるから	8	1.5
副業・兼業（個人事件の受任以外）ができるから	15	2.8
所属事務所から出向を命じられたから	7	1.3
司法研修所入所前の勤め先だったから	25	4.7
ほかに就職先がなかったから	33	6.3
その他	60	11.4

※その他詳細省略



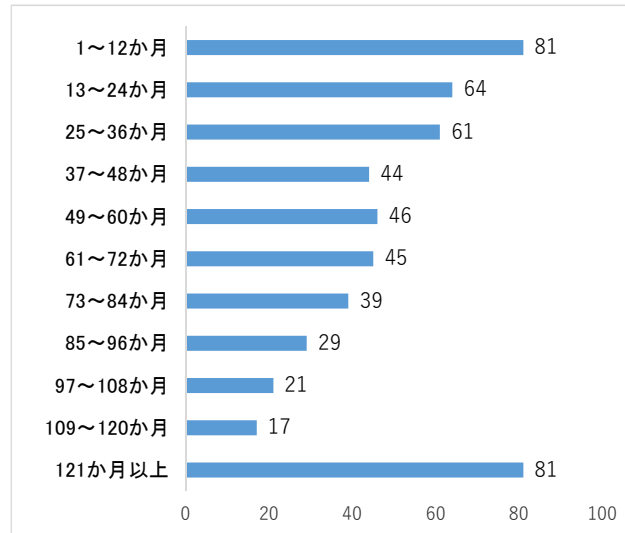
◆あなたの現在の勤務先企業についてお聞きします。

Q12 現在の勤務先企業での勤務期間をお答えください。

※出産、育児、介護等によって就業を中断した後に復職した場合、通算の期間をお答えください。

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

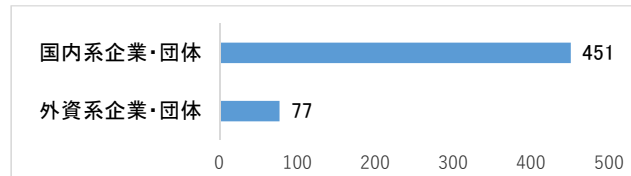
期間	度数
1～12か月	81
13～24か月	64
25～36か月	61
37～48か月	44
49～60か月	46
61～72か月	45
73～84か月	39
85～96か月	29
97～108か月	21
109～120か月	17
121か月以上	81
合計	528



Q13 勤務先企業は、国内系企業・団体、外資系企業・団体のいずれに該当しますか。

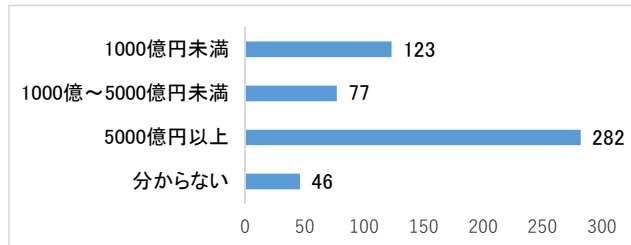
※この質問における「外資系企業・団体」とは、日本国外に本店又は親会社があり、日本にその支店又は子会社等がある企業を指します。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
国内系企業・団体	451	85.4
外資系企業・団体	77	14.6



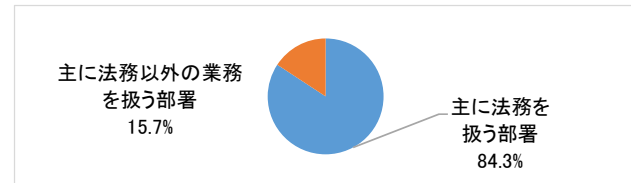
Q14 勤務先企業の前年度の売上額（親会社・子会社を合わせたグループ全体の連結ベース）は、下記のどれに該当しますか。当てはまるものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
1000億円未満	123	23.3
1000億～5000億円未満	77	14.6
5000億円以上	282	53.4
分からない	46	8.7



Q15 あなたの現在の配属部署は主に法務を扱う部署ですか。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
主に法務を扱う部署	445	84.3
主に法務以外の業務を扱う部署	83	15.7



現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています。

**Q16 あなたの所属部署のあなたを含めた所属人数をそれぞれお答えください。**

(1) 所属部署全体の人数

	度数	%
TOTAL	445	100.0
7人	34	7.6
6人	33	7.4
20人	33	7.4
8人	31	7.0
3人	26	5.8
4人	25	5.6
5人	23	5.2
10人	22	4.9
2人	18	4.0
12人	18	4.0
30人	16	3.6
9人	14	3.1
1人	13	2.9
11人	10	2.2
18人	10	2.2
50人	10	2.2
14人	9	2.0
15人	9	2.0
40人	8	1.8
16人	6	1.3
25人	6	1.3
60人	5	1.1
100人	5	1.1
17人	4	0.9
32人	4	0.9
80人	4	0.9
13人	3	0.7
22人	3	0.7
35人	3	0.7
70人	3	0.7
21人	2	0.4
27人	2	0.4
28人	2	0.4
36人	2	0.4
78人	2	0.4
95人	2	0.4
160人	2	0.4
400人	2	0.4
19人	1	0.2
23人	1	0.2
26人	1	0.2
29人	1	0.2
33人	1	0.2
37人	1	0.2
45人	1	0.2
47人	1	0.2
49人	1	0.2
51人	1	0.2
55人	1	0.2
66人	1	0.2
75人	1	0.2
107人	1	0.2
115人	1	0.2
150人	1	0.2
200人	1	0.2
300人	1	0.2
330人	1	0.2
450人	1	0.2
2000人	1	0.2
平均値	26.9	—
中央値	10.0	—

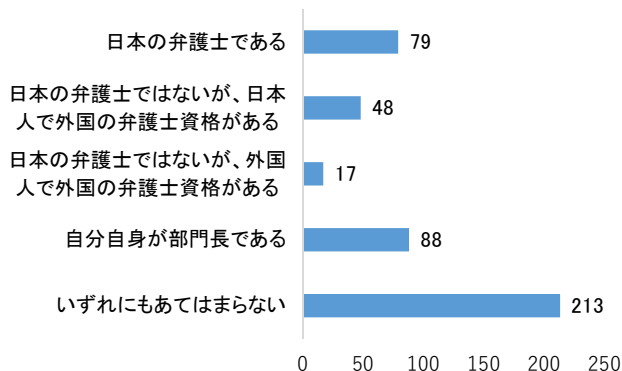
(2) うち日本の弁護士の数

	度数	%
TOTAL	445	100.0
1人	146	32.8
2人	88	19.8
3人	51	11.5
4人	40	9.0
5人	22	4.9
6人	22	4.9
8人	15	3.4
7人	11	2.5
10人	9	2.0
20人	6	1.3
9人	4	0.9
12人	4	0.9
15人	3	0.7
17人	3	0.7
11人	2	0.4
13人	2	0.4
35人	2	0.4
40人	2	0.4
60人	2	0.4
18人	1	0.2
19人	1	0.2
23人	1	0.2
25人	1	0.2
30人	1	0.2
50人	1	0.2
65人	1	0.2
74人	1	0.2
80人	1	0.2
90人	1	0.2
100人	1	0.2
平均値	5.3	—
中央値	2.0	—

現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています。

**Q17 部門長について、1つお選びください。ご自身が部門長である場合は、「自分自身が部門長である」をお選びください。**

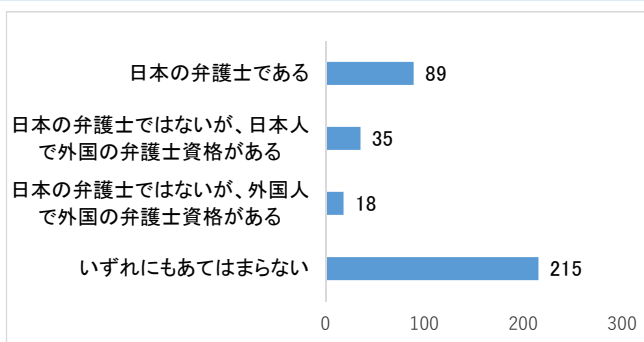
	度数	%
TOTAL	445	100
日本の弁護士である	79	17.8
日本の弁護士ではないが、日本人で外国の弁護士資格がある	48	10.8
日本の弁護士ではないが、外国人で外国の弁護士資格がある	17	3.8
自分自身が部門長である	88	19.8
いずれにもあてはまらない	213	47.9



現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています（Q17で「自分自身が部門長である」と回答した人を除く。）。

**Q18 直属の上司について、1つお選びください。**

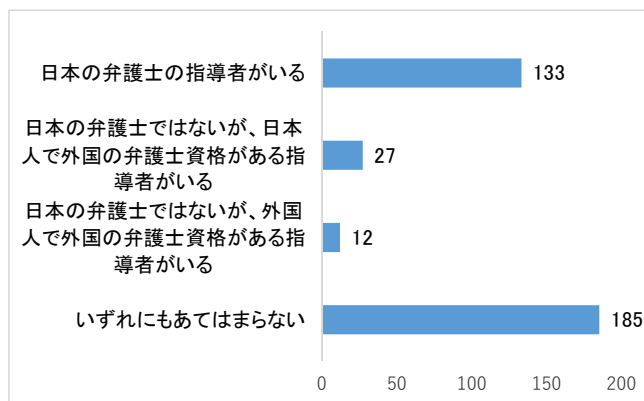
	度数	%
TOTAL	357	100.0
日本の弁護士である	89	24.9
日本の弁護士ではないが、日本人で外国の弁護士資格がある	35	9.8
日本の弁護士ではないが、外国人で外国の弁護士資格がある	18	5.0
いずれにもあてはまらない	215	60.2



（Q17で「自分自身が部門長である」と回答した人を除く）

**Q19 所属部署にあなたを指導できる立場にある弁護士等（上司、先輩）はいますか。**

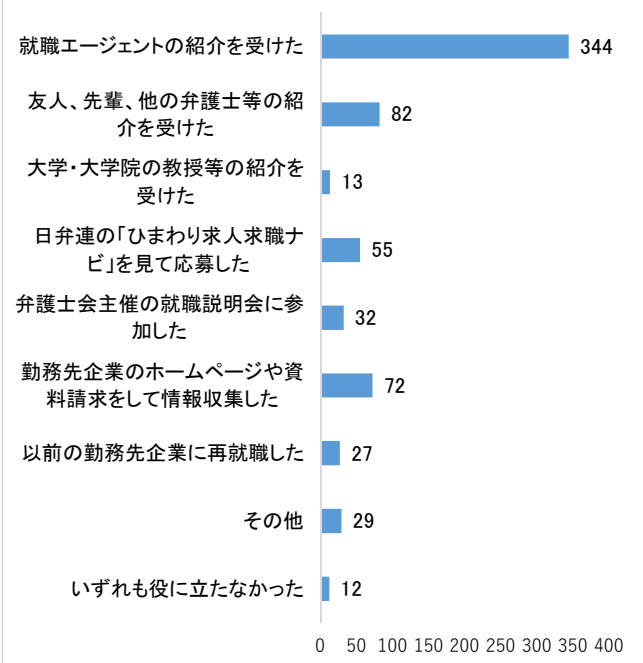
	度数	%
TOTAL	357	100.0
日本の弁護士の指導者がいる	133	37.3
日本の弁護士ではないが、日本人で外国の弁護士資格がある指導者がいる	27	7.6
日本の弁護士ではないが、外国人で外国の弁護士資格がある指導者がいる	12	3.4
いずれにもあてはまらない	185	51.8



Q20 あなたが現在の勤務先企業に就職する際に行った就職活動について、役に立ったものを3つまでお選びください。

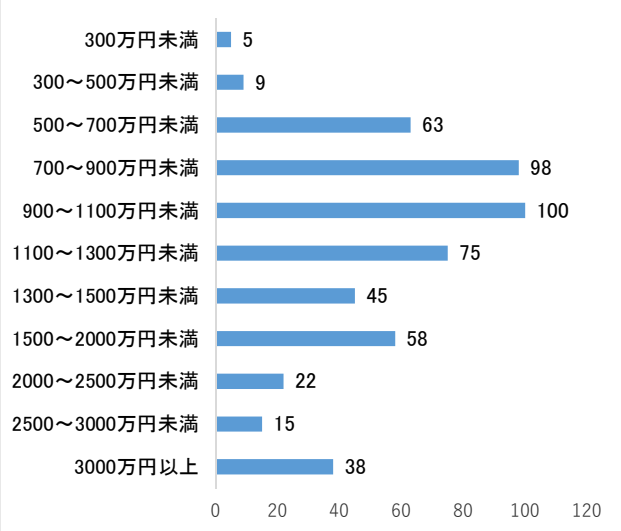
	度数	%
TOTAL	528	—
就職エージェントの紹介を受けた	344	65.2
友人、先輩、他の弁護士等の紹介を受けた	82	15.5
大学・大学院の教授等の紹介を受けた	13	2.5
日弁連の「ひまわり求人求職ナビ」を見て応募した	55	10.4
弁護士会主催の就職説明会に参加した	32	6.1
勤務先企業のホームページや資料請求をして情報収集した	72	13.6
以前の勤務先企業に再就職した	27	5.1
その他	29	5.5
いずれも役に立たなかった	12	2.3

※その他詳細省略



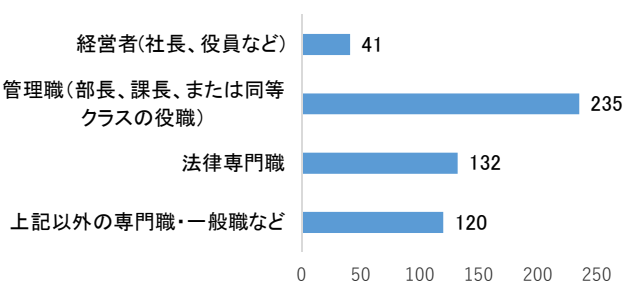
Q21 あなたが勤務先企業から昨年1年間で得た収入（税引前の金額。個人事件・副業等による収入は除く。）はおよそどのくらいでしたか。1つお選びください。勤務が1年に満たない場合は、1年間勤務した場合としてお考えください。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
300万円未満	5	0.9
300～500万円未満	9	1.7
500～700万円未満	63	11.9
700～900万円未満	98	18.6
900～1100万円未満	100	18.9
1100～1300万円未満	75	14.2
1300～1500万円未満	45	8.5
1500～2000万円未満	58	11.0
2000～2500万円未満	22	4.2
2500～3000万円未満	15	2.8
3000万円以上	38	7.2



Q22 現在の勤務先企業でのポジションについてお聞きします。以下のうち、当てはまるものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	528	100.0
経営者(社長、役員など)	41	7.8
管理職(部長、課長、または同等クラスの役職)	235	44.5
法律専門職	132	25.0
上記以外の専門職・一般職など	120	22.7



Q23 あなたの業務のうち、法務に関するものの割合(%)はどの程度ですか。その割合(%)について、お答えください。

※法務+非法務の割合が、合計で100%になるようにお答えください。

(1) 法務 (%)

法務 (%)	度数	%
TOTAL	528	100.0
0	12	2.3
5	9	1.7
10	16	3.0
15	2	0.4
20	13	2.5
30	13	2.5
33	1	0.2
35	5	0.9
40	7	1.3
50	38	7.2
51	1	0.2
60	23	4.4
65	6	1.1
70	42	8.0
75	9	1.7
80	59	11.2
85	5	0.9
90	57	10.8
95	20	3.8
98	1	0.2
99	3	0.6
100	186	35.2
平均値	75.5	—
中央値	90.0	—

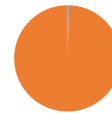
(2) 非法務 (%)

非法務 (%)	度数	%
TOTAL	528	100.0
0	186	35.2
1	3	0.6
2	1	0.2
5	20	3.8
10	57	10.8
15	5	0.9
20	59	11.2
25	9	1.7
30	42	8.0
35	6	1.1
40	23	4.4
49	1	0.2
50	38	7.2
60	7	1.3
65	5	0.9
67	1	0.2
70	13	2.5
80	13	2.5
85	2	0.4
90	16	3.0
95	9	1.7
100	12	2.3
平均値	24.5	—
中央値	10.0	—

Q24 あなたは法律事務所からの出向で勤務していますか。

	度数	%
TOTAL	528	100
法律事務所からの出向である	2	0.4
法律事務所からの出向ではない	526	99.6

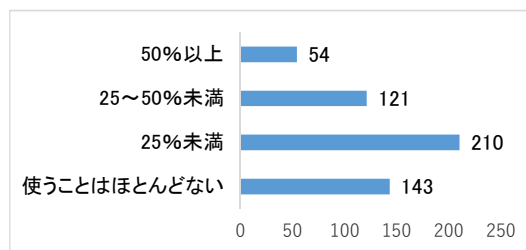
法律事務所からの  
出向ではない  
99.6%



法律事務所から  
の出向である  
0.4%

Q25 業務における外国語を用いる割合についてお聞きます。以下のうち、当てはまるものを1つお選びください。

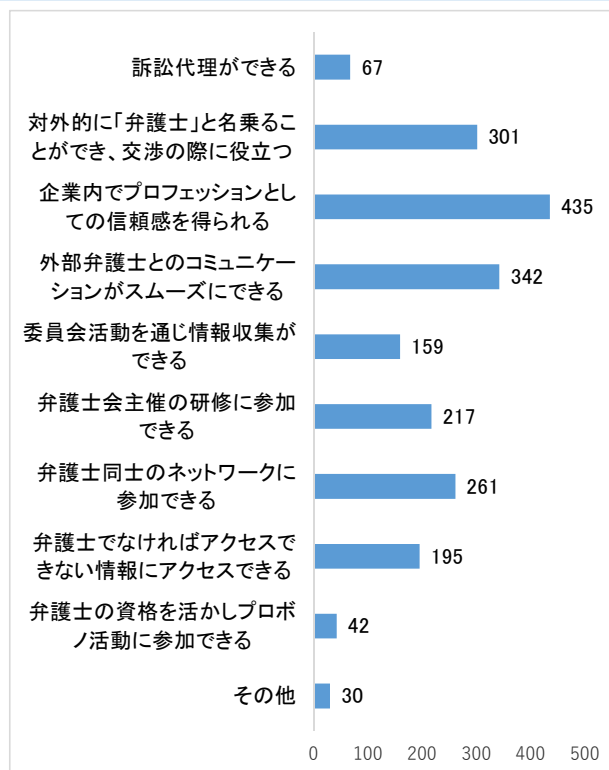
	度数	%
TOTAL	528	100.0
50%以上	54	10.2
25～50%未満	121	22.9
25%未満	210	39.8
使うことはほとんどない	143	27.1



Q26 企業内弁護士として仕事をする上で、弁護士登録をされていてよかったと思う点がありますか。当てはまるものをいくつでもお選びください。

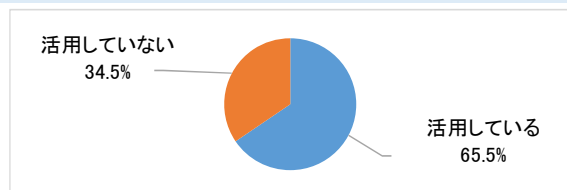
	度数	%
TOTAL	528	—
訴訟代理ができる	67	12.7
対外的に「弁護士」と名乗ることができ、交渉の際に役立つ	301	57.0
企業内でプロフェッションとしての信頼感を得られる	435	82.4
外部弁護士とのコミュニケーションがスムーズにできる	342	64.8
委員会活動を通じ情報収集ができる	159	30.1
弁護士会主催の研修に参加できる	217	41.1
弁護士同士のネットワークに参加できる	261	49.4
弁護士でなければアクセスできない情報にアクセスできる	195	36.9
弁護士の資格を活かしプロボノ活動に参加できる	42	8.0
その他	30	5.7

※その他詳細省略



Q27 あなたの勤務先企業では、現在、法務分野において、いわゆるリーガルテック（AI技術を含む）を活用していますか。

	度数	%
TOTAL	528	100
活用している	346	65.5
活用していない	182	34.5

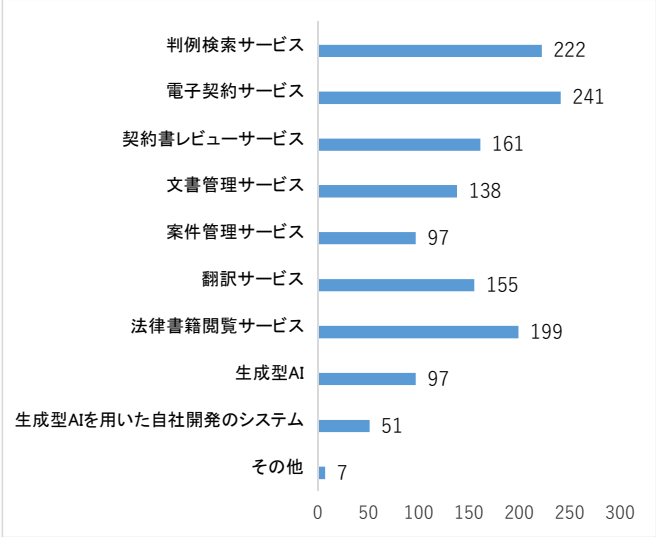


勤務先企業の法務分野におけるリーガルテック（AI技術を含む）の活用に関して、あなたは「活用している」とお答えになりました。

**Q27-2 法務分野において、どのようなリーガルテック（AI技術を含む）を活用していますか。いくつかもお選びください。**

	度数	%
TOTAL	346	—
判例検索サービス	222	64.2
電子契約サービス	241	69.7
契約書レビューサービス	161	46.5
文書管理サービス	138	39.9
案件管理サービス	97	28.0
翻訳サービス	155	44.8
法律書籍閲覧サービス	199	57.5
生成型AI	97	28.0
生成型AIを用いた自社開発のシステム	51	14.7
その他	7	2.0

※その他詳細省略

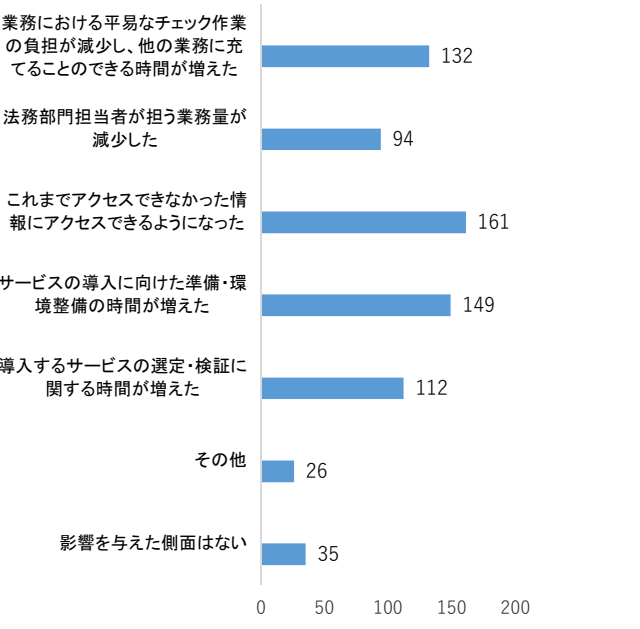


勤務先企業の法務分野におけるリーガルテック（AI技術を含む）の活用に関して、あなたは「活用している」とお答えになりました。

**Q27-3 勤務先企業の法務分野において、リーガルテック（AI技術を含む）の活用が拡大したことに伴い、あなた又は勤務先企業内における周囲の方の働き方へ影響を与えた側面としてはどのような点が挙げられますか。いくつかもお選びください。**

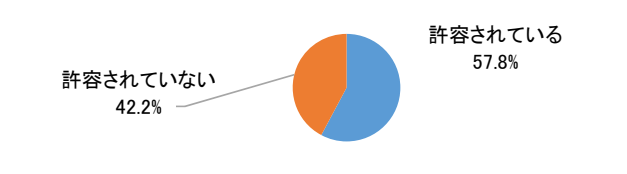
	度数	%
TOTAL	346	—
業務における平易なチェック作業の負担が減少し、他の業務に充てることができる時間が増えた	132	38.2
法務部門担当者が担う業務量が減少した	94	27.2
これまでアクセスできなかった情報にアクセスできるようになった	161	46.5
サービスの導入に向けた準備・環境整備の時間が増えた	149	43.1
導入するサービスの選定・検証に関する時間が増えた	112	32.4
その他	26	7.5
影響を与えた側面はない	35	10.1

※その他詳細省略



**Q28 現在の勤務先企業において、副業を行うことは許容されていますか。**

	度数	%
TOTAL	528	100
許容されている	305	57.8
許容されていない	223	42.2



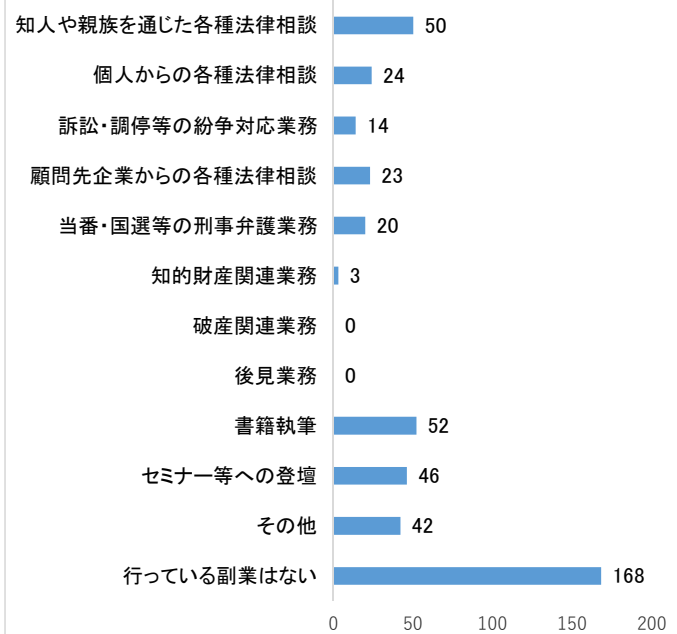


勤務先企業における副業の可否に関して、あなたは「許容されてる」とお答えになりました。

**Q28-2 具体的にどのような副業を行っていますか。いくつでもお選びください。**

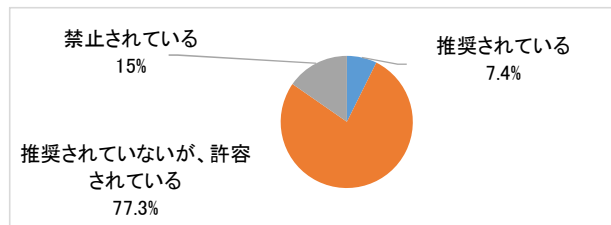
	度数	%
TOTAL	305	—
知人や親族を通じた各種法律相談	50	16.4
個人からの各種法律相談	24	7.9
訴訟・調停等の紛争対応業務	14	4.6
顧問先企業からの各種法律相談	23	7.5
当番・国選等の刑事弁護業務	20	6.6
知的財産関連業務	3	1.0
破産関連業務	0	0.0
後見業務	0	0.0
書籍執筆	52	17.0
セミナー等への登壇	46	15.1
その他	42	13.8
行っている副業はない	168	55.1

※その他詳細省略



**Q29 現在の勤務先企業において、プロボノ活動に関与することは推奨又は許容されていますか。**

	度数	%
TOTAL	528	100
推奨されている	39	7.4
推奨されていないが、許容されている	408	77.3
禁止されている	81	15.3

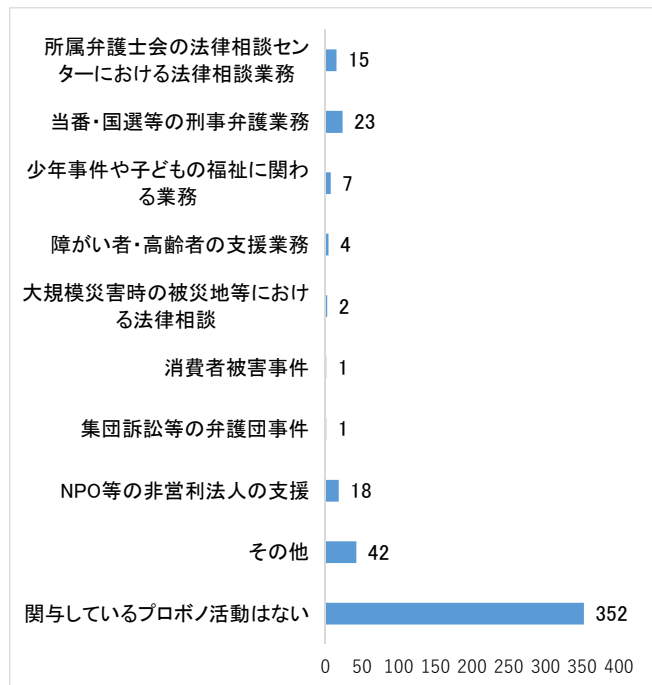


勤務先企業におけるプロボノ活動への関与の可否に関して、あなたは「推奨されている」又は「許容されている」とお答えになりました。

**Q29-2 具体的にどのようなプロボノ活動に関与されていますか。いくつでもお選びください。**

	度数	%
TOTAL	447	—
所属弁護士会の法律相談センターにおける法律相談業務	15	3.4
当番・国選等の刑事弁護業務	23	5.1
少年事件や子どもの福祉に関わる業務	7	1.6
障がい者・高齢者の支援業務	4	0.9
大規模災害時の被災地等における法律相談	2	0.4
消費者被害事件	1	0.2
集団訴訟等の弁護団事件	1	0.2
NPO等の非営利法人の支援	18	4.0
その他	42	9.4
関与しているプロボノ活動はない	352	78.7

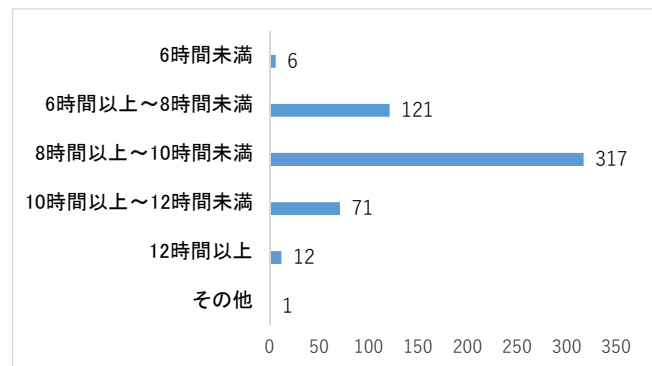
※その他詳細省略



**Q30 あなたの、勤務先企業（複数の企業で勤務をされている方は合算した勤務時間）の勤務日における平均的な1日の労働時間についてご回答ください。**

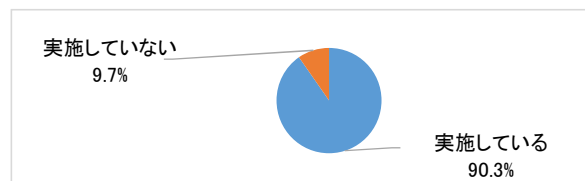
	度数	%
TOTAL	528	100.0
6時間未満	6	1.1
6時間以上～8時間未満	121	22.9
8時間以上～10時間未満	317	60.0
10時間以上～12時間未満	71	13.4
12時間以上	12	2.3
その他	1	0.2

※その他詳細省略



**Q31 あなたの勤務先企業は、現在、テレワーク等の在宅勤務を実施していますか。**

	度数	%
TOTAL	528	100.0
実施している	477	90.3
実施していない	51	9.7

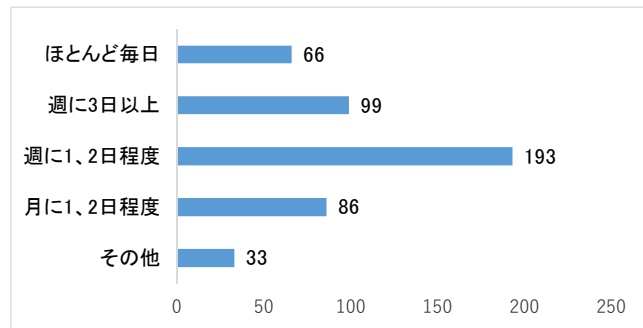


勤務先企業における在宅勤務の実施の有無に関して、あなたは「実施されている」とお答えになりました。

**Q31-2 具体的にはどの程度の頻度で在宅勤務をしていますか。**

	度数	%
TOTAL	477	100.0
ほとんど毎日	66	13.8
週に3日以上	99	20.8
週に1、2日程度	193	40.5
月に1、2日程度	86	18.0
その他	33	6.9

※その他詳細省略



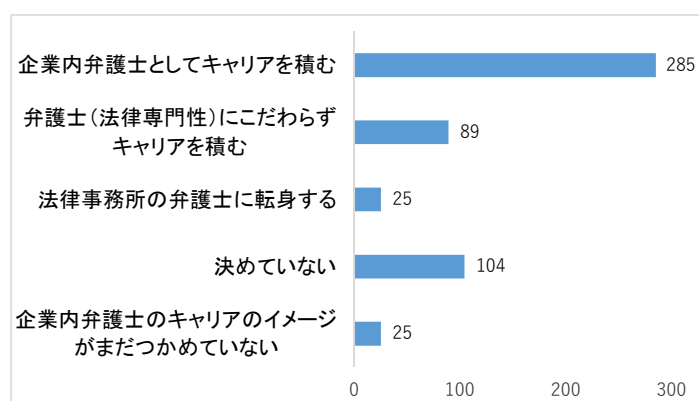
**Q32 現在の仕事に対してどの程度満足していますか。それぞれの項目について当てはまるものを1つずつお選びください。**

	TOTAL	大変満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	大変不満
業務内容	528 100.0	127 24.1	272 51.5	76 14.4	47 8.9	6 1.1
専門性・スキルアップ	528 100.0	87 16.5	248 47.0	121 22.9	52 9.8	20 3.8
年収	528 100.0	85 16.1	252 47.7	99 18.8	70 13.3	22 4.2
ワーク・ライフ・バランス	528 100.0	229 43.4	210 39.8	49 9.3	31 5.9	9 1.7

◆あなたの今後のキャリアに対する考え方についてお聞きします。

**Q33 今後どのようなキャリアをイメージしていますか。最も近いものを1つお選びください。**

	度数	%
TOTAL	528	100.0
企業内弁護士としてキャリアを積む	285	54.0
弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む	89	16.9
法律事務所の弁護士に転身する	25	4.7
決めていない	104	19.7
企業内弁護士のキャリアのイメージがまだつかめていない	25	4.7

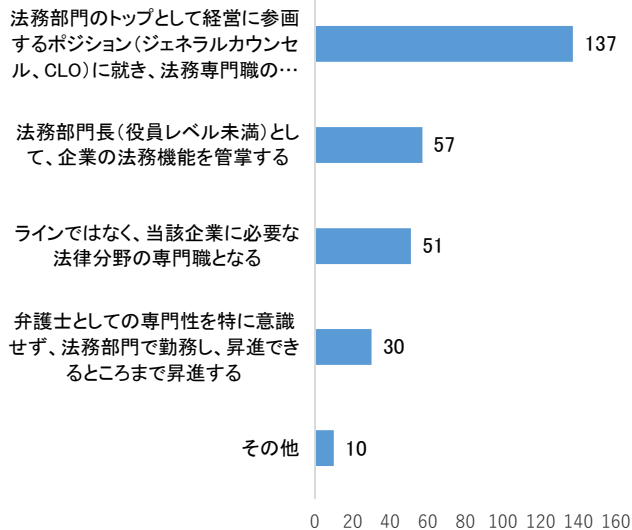


今後のキャリアに関して、あなたは「企業内弁護士としてキャリアを積む」とお答えになりました。

**Q34 具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。**

	度数	%
TOTAL	285	100.0
法務部門のトップとして経営に参画するポジション（ジェネラルカウンセル、CLO）に就き、法務専門職の観点から経営の中枢に関与する	137	48.1
法務部門長（役員レベル未満）として、企業の法務機能を管掌する	57	20.0
ラインではなく、当該企業に必要な法律分野の専門職となる	51	17.9
弁護士としての専門性を特に意識せず、法務部門で勤務し、昇進できるところまで昇進する	30	10.5
その他	10	3.5

※その他詳細省略



**Q34-2 「企業内弁護士としてキャリアを積む」と考える理由は何ですか。**

※300文字以内でご記入ください。

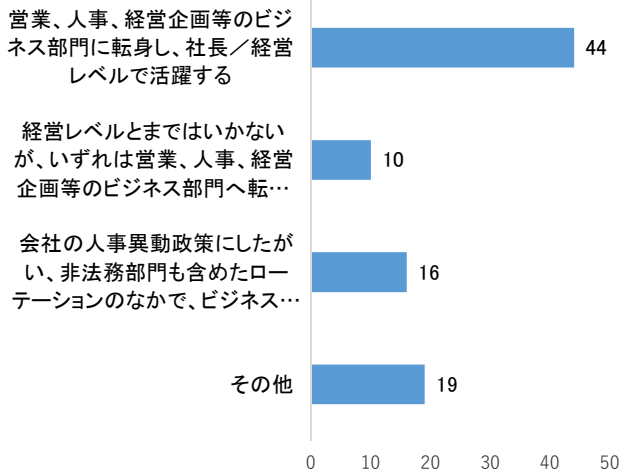
※省略

今後のキャリアに関して、あなたは「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」とお答えになりました。

**Q35 具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。**

	度数	%
TOTAL	89	100.0
営業、人事、経営企画等のビジネス部門に転身し、社長／経営レベルで活躍する	44	49.4
経営レベルとまではいかないが、いずれは営業、人事、経営企画等のビジネス部門へ転身して活躍する	10	11.2
会社の人事異動政策にしたがい、非法務部門も含めたローテーションのなかで、ビジネスマンとしてのキャリアを積む	16	18.0
その他	19	21.3

※その他詳細省略



**Q35-2 「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」と考える理由は何ですか。**

※300文字以内でご記入ください。

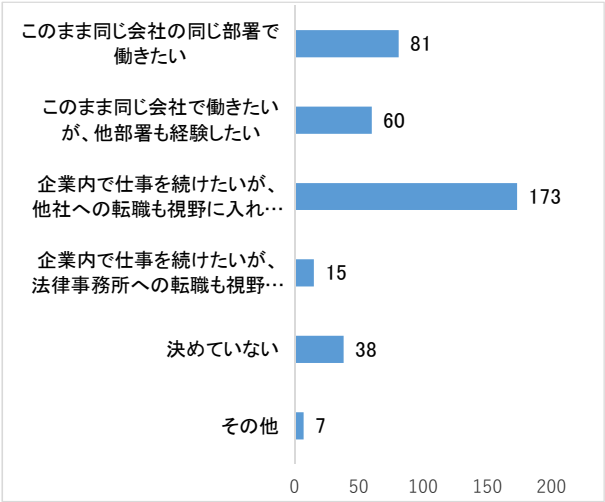
※省略

今後のキャリアに関して、あなたは「企業内弁護士としてキャリアを積む」または「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」とお答えになりました。

Q36 将来の展望について、最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	374	100.0
このまま同じ会社の同じ部署で働きたい	81	21.7
このまま同じ会社で働きたいが、他部署も経験したい	60	16.0
企業内で仕事を続けたいが、他社への転職も視野に入れたい	173	46.3
企業内で仕事を続けたいが、法律事務所への転職も視野に入れたい	15	4.0
決めていない	38	10.2
その他	7	1.9

※その他詳細省略

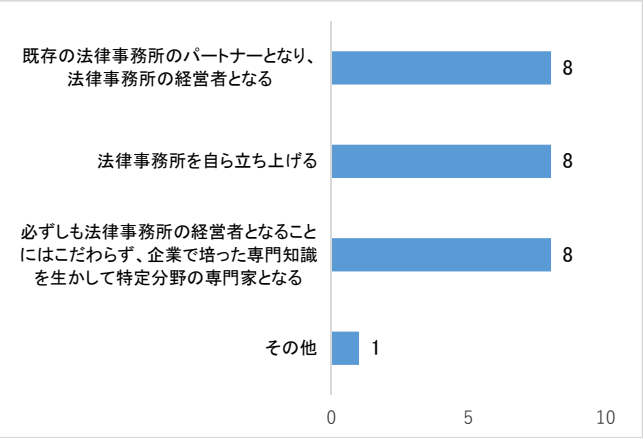


今後のキャリアに関して、あなたは「法律事務所の弁護士に転身する」とお答えになりました。

Q37 具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	25	100.0
既存の法律事務所のパートナーとなり、法律事務所の経営者となる	8	32.0
法律事務所を自ら立ち上げる	8	32.0
必ずしも法律事務所の経営者となることにはこだわらず、企業で培った専門知識を生かして特定分野の専門家となる	8	32.0
その他	1	4.0

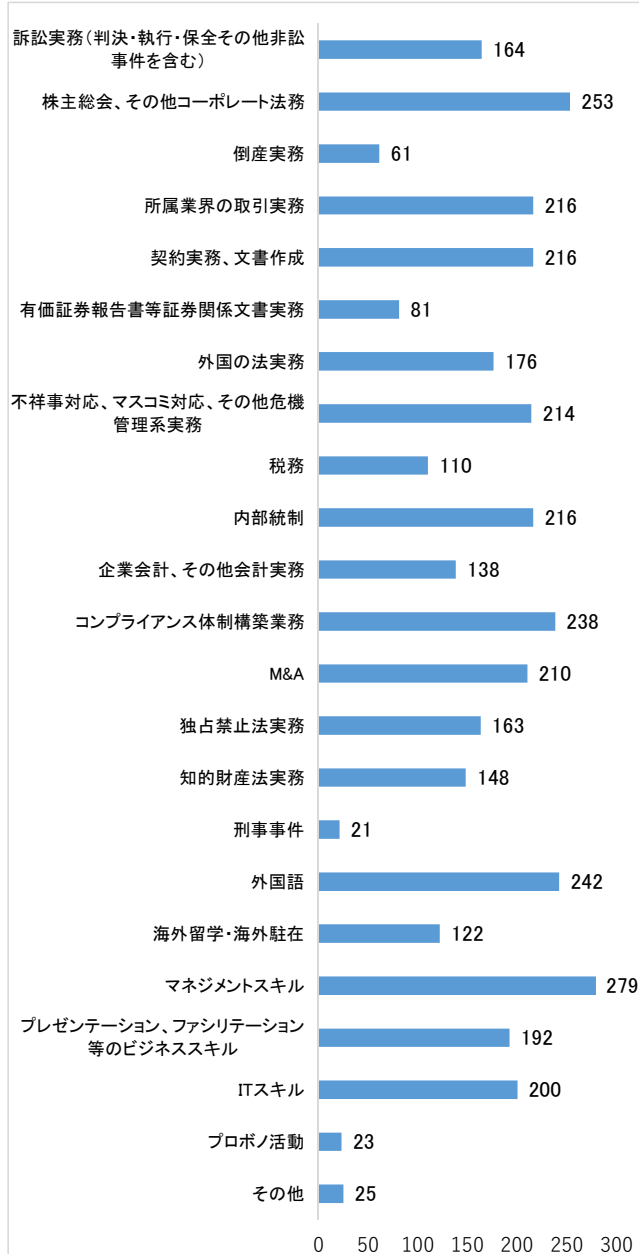
※その他詳細省略



Q38 今後のキャリアアップのために有益であり、取り組みたいと思う事項は次のうちどれですか。当てはまるものをすべてお選びください。

	度数	%
TOTAL	528	—
訴訟実務（判決・執行・保全その他非訟事件を含む）	164	31.1
株主総会、その他コーポレート法務	253	47.9
倒産実務	61	11.6
所属業界の取引実務	216	40.9
契約実務、文書作成	216	40.9
有価証券報告書等証券関係文書実務	81	15.3
外国の法実務	176	33.3
不祥事対応、マスコミ対応、その他危機管理系実務	214	40.5
税務	110	20.8
内部統制	216	40.9
企業会計、その他会計実務	138	26.1
コンプライアンス体制構築業務	238	45.1
M&A	210	39.8
独占禁止法実務	163	30.9
知的財産法実務	148	28.0
刑事事件	21	4.0
外国語	242	45.8
海外留学・海外駐在	122	23.1
マネジメントスキル	279	52.8
プレゼンテーション、ファシリテーション等のビジネススキル	192	36.4
ITスキル	200	37.9
プロボノ活動	23	4.4
その他	25	4.7

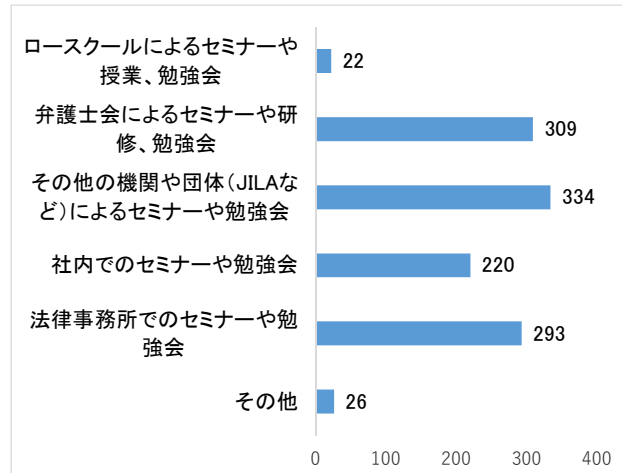
※その他詳細省略



**Q39 あなたは、法務・非法務を問わず、今どのような研修を利用していますか。当てはまるものをすべてお選びください。**

	度数	%
TOTAL	528	—
ロースクールによるセミナーや授業、勉強会	22	4.2
弁護士会によるセミナーや研修、勉強会	309	58.5
その他の機関や団体（JILAなど）によるセミナーや勉強会	334	63.3
社内でのセミナーや勉強会	220	41.7
法律事務所でのセミナーや勉強会	293	55.5
その他	26	4.9

※その他詳細省略



**Q39-2 あなたは、法務・非法務を問わず、どのような研修・セミナー等が必要だとお考えですか。**  
※300文字以内でご記入ください。

※省略

**Q40 将来のキャリアに関する期待と不安についてお聞きます。それぞれの項目について当てはまるものを1つお選びください。**

	TOTAL	期待がある	どちらかという期待がある	どちらでもない	どちらかという不安がある	不安がある
ビジネスを遂行する過程に関わる中で、ビジネス活動の一翼を担う者として成長できる	528 100.0	174 33.0	246 46.6	71 13.4	26 4.9	11 2.1
その業種特有の専門性を高めることができる	528 100.0	178 33.7	241 45.6	75 14.2	21 4.0	13 2.5
自分の知識・経験・専門性を仕事に活かすことができる	528 100.0	194 36.7	252 47.7	46 8.7	23 4.4	13 2.5
企業をめぐる法務問題全般を見ることができるので、企業法務専門家としてバランスのとれた経験を積むことができる	528 100.0	169 32.0	231 43.8	78 14.8	32 6.1	18 3.4
法律外の問題や社内調整など法的業務以外の仕事も担う中で成長できる	528 100.0	153 29.0	248 47.0	94 17.8	24 4.5	9 1.7
今の業種／企業以外でも通用する法律家になることができる	528 100.0	94 17.8	176 33.3	141 26.7	84 15.9	33 6.3
指導者や研修環境に恵まれており、法律専門家として成長できる	528 100.0	47 8.9	120 22.7	168 31.8	124 23.5	69 13.1
組織内でキャリアパスができており、将来について具体的なイメージを描くことができる	528 100.0	38 7.2	99 18.8	187 35.4	120 22.7	84 15.9
組織内での信頼を獲得し、組織人として成功することができる	528 100.0	114 21.6	239 45.3	121 22.9	35 6.6	19 3.6
弁護士であることが今後組織内で信頼を得ていく一つの要素となっていくと感じられる	528 100.0	139 26.3	205 38.8	128 24.2	35 6.6	21 4.0
ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができる	528 100.0	208 39.4	210 39.8	62 11.7	33 6.3	15 2.8
待遇面での向上が見込める	528 100.0	77 14.6	174 33.0	173 32.8	60 11.4	44 8.3

**Q41 将来のキャリアについてこれ以外の期待や不安があれば記載してください。**

※省略

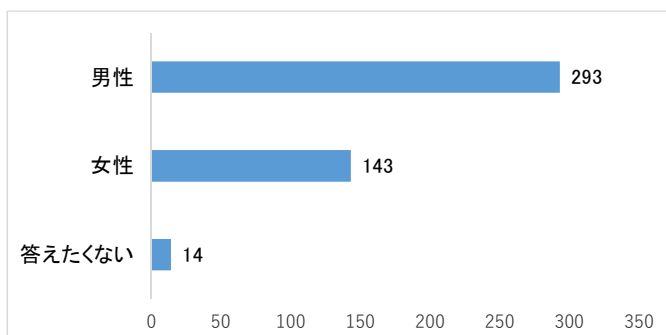
### 第3回企業内弁護士キャリアパス調査（2021年実施）回答結果（単純集計）

【対象者数】 2,706名

【回答者数】 450名（回答率） 16.63%

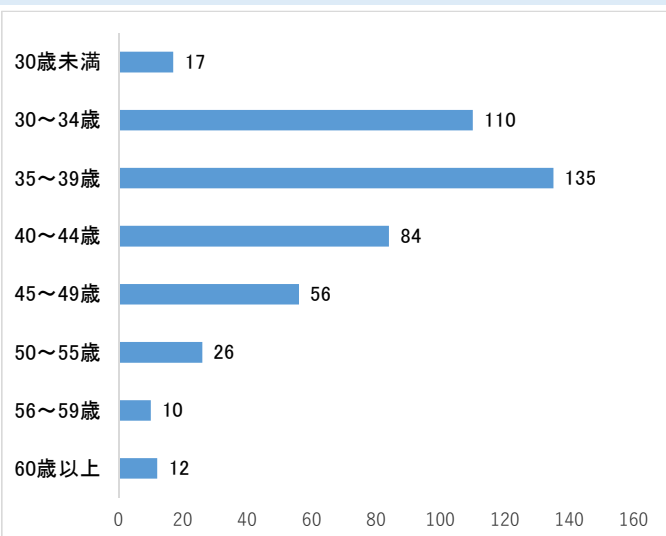
#### Q1 あなたの性別をお答えください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
男性	293	65.1
女性	143	31.8
答えたくない	14	3.1



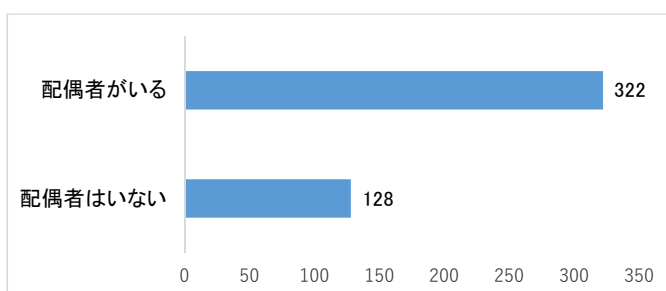
#### Q2 あなたの年齢をお答えください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
30歳未満	17	3.8
30～34歳	110	24.4
35～39歳	135	30.0
40～44歳	84	18.7
45～49歳	56	12.4
50～55歳	26	5.8
56～59歳	10	2.2
60歳以上	12	2.7



#### Q3 現在、配偶者（事実婚・パートナーシップを含む）の方がいらっしゃいますか。

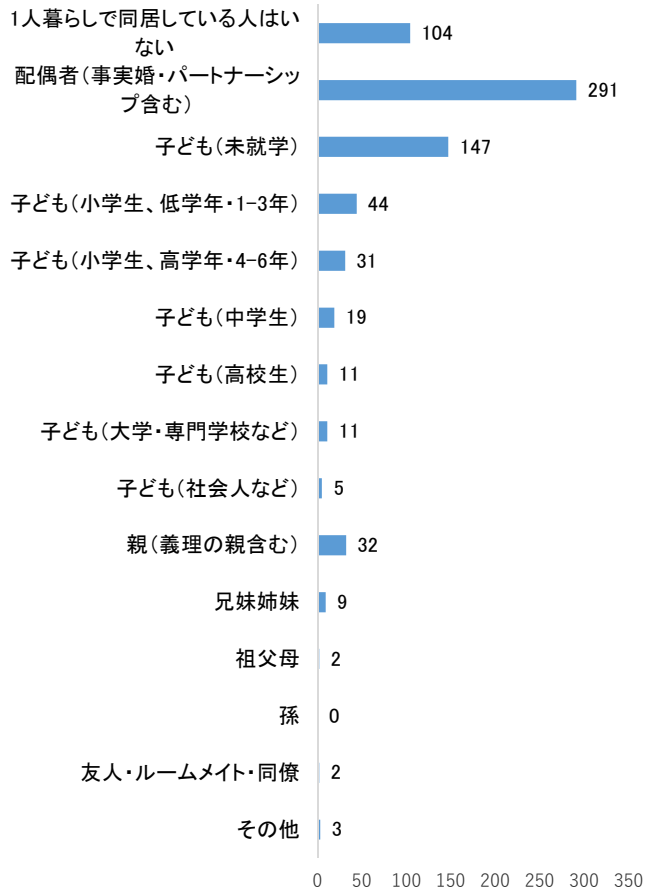
	度数	%
TOTAL	450	100.0
配偶者がいる	322	71.6
配偶者はいない	128	28.4





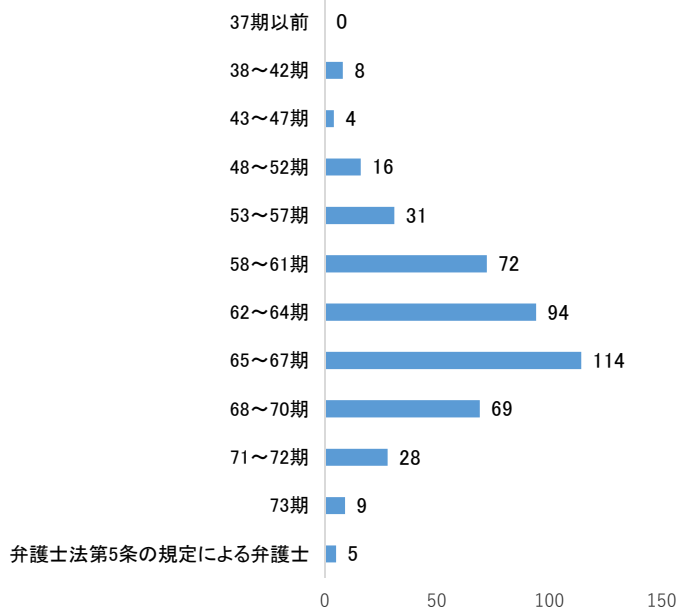
Q4 現在同居している人を、次の中からすべてお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	—
1人暮らしで同居している人はいない	104	23.1
配偶者（事実婚・パートナーシップ含む）	291	64.7
子ども（未就学）	147	32.7
子ども（小学生、低学年・1-3年）	44	9.8
子ども（小学生、高学年・4-6年）	31	6.9
子ども（中学生）	19	4.2
子ども（高校生）	11	2.4
子ども（大学・専門学校など）	11	2.4
子ども（社会人など）	5	1.1
親（義理の親含む）	32	7.1
兄妹姉妹	9	2.0
祖父母	2	0.4
孫	0	0.0
友人・ルームメイト・同僚	2	0.4
その他	3	0.7



Q5 修習期をお答えください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
37期以前	0	0.0
38～42期	8	1.8
43～47期	4	0.9
48～52期	16	3.6
53～57期	31	6.9
58～61期	72	16.0
62～64期	94	20.9
65～67期	114	25.3
68～70期	69	15.3
71～72期	28	6.2
73期	9	2.0
弁護士法第5条の規定による弁護士	5	1.1



◆あなたのこれまでの経歴についてお聞きします。

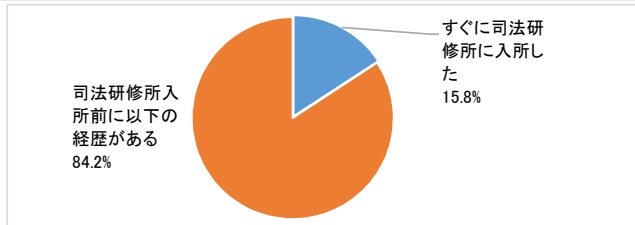
大学卒業後、司法研修所入所前までの経歴についてお聞きします（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、大学卒業後、5条研修受講前までの経歴についてお答えください。）。

Q6 あなたが経験した経歴等について当てはまるものすべてについて、在籍・在職期間を教えてください。

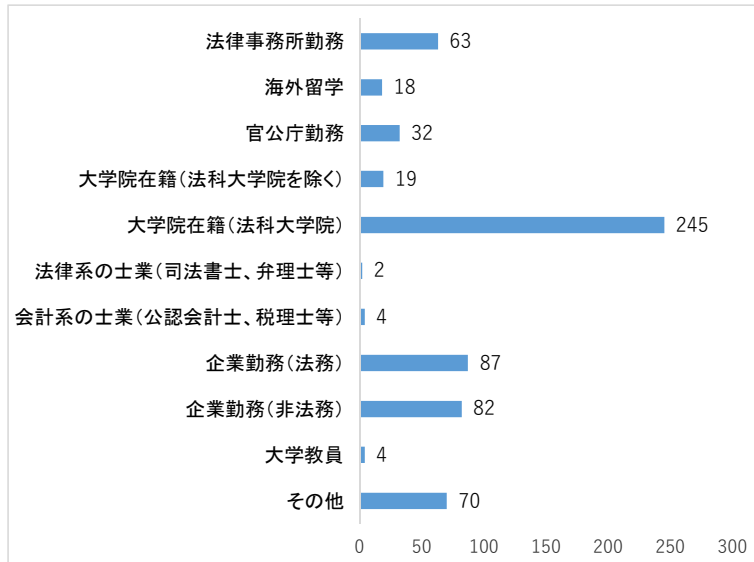
※在籍・在職期間回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

※すぐに司法研修所に入所された方は、「すぐに司法研修所に入所した」をお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
すぐに司法研修所に入所した	71	15.8
司法研修所入所に以下の経歴がある	379	84.2



法律事務所勤務	63
海外留学	18
官公庁勤務	32
大学院在籍（法科大学院を除く）	19
大学院在籍（法科大学院）	245
法律系の士業（司法書士、弁理士等）	2
会計系の士業（公認会計士、税理士等）	4
企業勤務（法務）	87
企業勤務（非法務）	82
大学教員	4
その他	70



【Q6-2】その他詳細省略

在籍・在職期間

	法律事務所	海外留学	官公庁勤務	大学院在籍（法科大学院を除く）	大学院在籍（法科大学院）
1～12か月	11	11	4	0	3
13～24か月	10	6	8	15	145
25～36か月	11	1	3	1	91
37～48か月	3	0	7	3	3
49～60か月	5	0	2	0	2
61～72か月	7	0	0	0	0
73～84か月	3	0	1	0	1
85～96か月	2	0	1	0	0
97～108か月	3	0	0	0	0
109～120か月	4	0	0	0	0
121か月以上	4	0	6	0	0
合計	63	18	32	19	245

	法律系の士業（司法書士、弁理士等）	会計系の士業（公認会計士、税理士等）	企業勤務（法務）	企業勤務（非法務）	大学教員	その他
1～12か月	1	0	5	8	1	24
13～24か月	0	0	8	9	0	15
25～36か月	0	0	8	14	1	12
37～48か月	0	1	17	5	1	6
49～60か月	1	0	11	8	0	6
61～72か月	0	0	10	3	0	2
73～84か月	0	0	6	5	0	1
85～96か月	0	2	6	7	0	0
97～108か月	0	0	4	2	0	1
109～120か月	0	0	3	3	1	2
121か月以上	0	1	9	18	0	1
合計	2	4	87	82	4	70

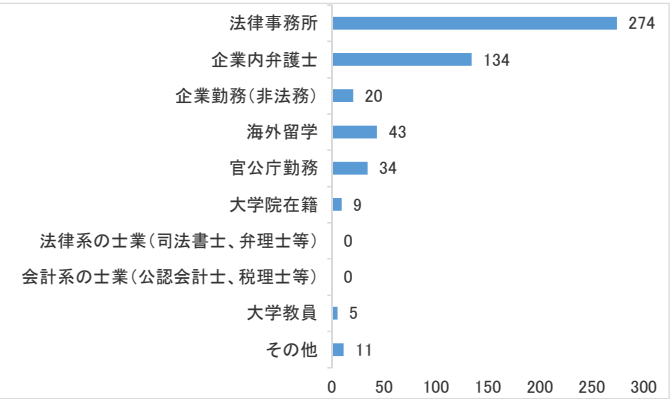
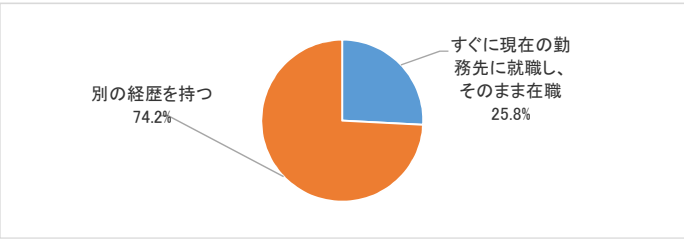
司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴についてお聞きます（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴についてお答えください。）。

**Q7 あなたが経験した経歴等について、当てはまるものをすべてお選びください。**

※すぐに現在の勤務先企業に就職し、その後出向等で他の勤務先に一時在籍した後に、現在の勤務先に復帰された方は、「現在の勤務先に就職する前に別の経歴がある」から経験した経歴等をお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
すぐに現在の勤務先に就職し、そのまま在職	116	25.8
別の経歴を持つ	334	74.2
別の経歴詳細	度数	%
TOTAL	334	—
法律事務所	274	60.9
企業内弁護士	134	29.8
企業勤務（非法務）	20	4.4
海外留学	43	9.6
官公庁勤務	34	7.6
大学院在籍	9	2.0
法律系の士業（司法書士、弁理士等）	0	0.0
会計系の士業（公認会計士、税理士等）	0	0.0
大学教員	5	1.1
その他	11	2.4

その他詳細省略



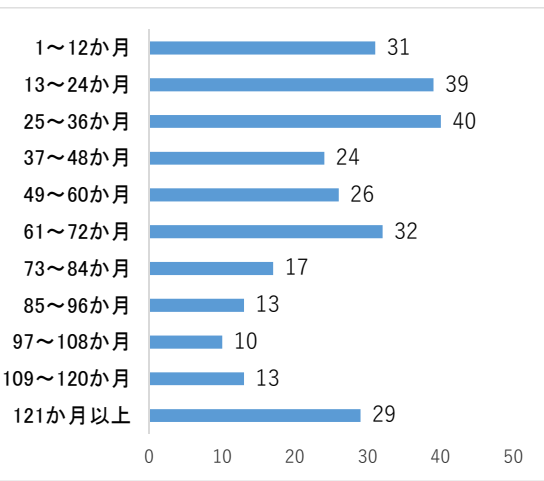
司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは「法律事務所」に勤務したとお答えになりました。

**Q8 法律事務所での経験期間（月数）をお答えください。**

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

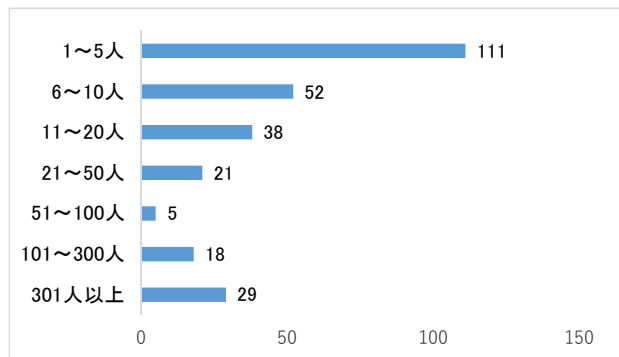
※なお、複数の法律事務所に勤務した経験のある方は、合計の月数をお答えください。

	度数
1～12か月	31
13～24か月	39
25～36か月	40
37～48か月	24
49～60か月	26
61～72か月	32
73～84か月	17
85～96か月	13
97～108か月	10
109～120か月	13
121か月以上	29
合計	274



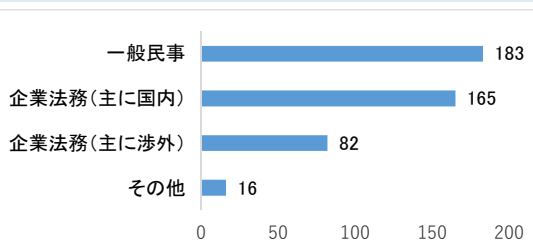
**Q8\_2 法律事務所の所属弁護士数（あなたを含めて・日本の弁護士に限る）についてお答えください。**  
 ※なお、複数の法律事務所に勤務した経験のある方は、所属期間の最も長い法律事務所の人数をお答えください。  
 ※弁護士法人等に所属していた場合には、勤務していた支店等の人数をお答えください。

	度数	%
TOTAL	274	100.0
1～5人	111	40.5
6～10人	52	19.0
11～20人	38	13.9
21～50人	21	7.7
51～100人	5	1.8
101～300人	18	6.6
301人以上	29	10.6



**Q8\_3 法律事務所での勤務内容について、当てはまるものをすべてお選びください。**

	度数	%
TOTAL	274	—
一般民事	183	66.8
企業法務（主に国内）	165	60.2
企業法務（主に渉外）	82	29.9
その他	16	5.8



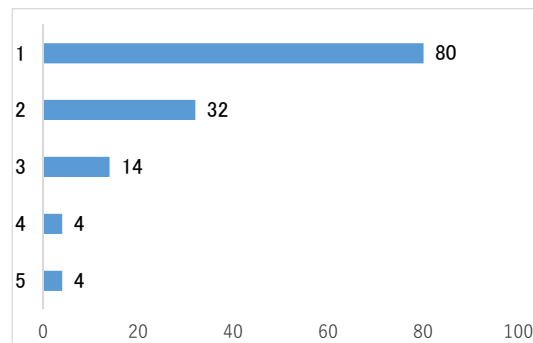
その他詳細省略

司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは「企業内弁護士」として勤務したとお答えになりました。

**Q9 現在の勤務先企業に勤める前に在籍した企業数、在籍期間を教えてください。**

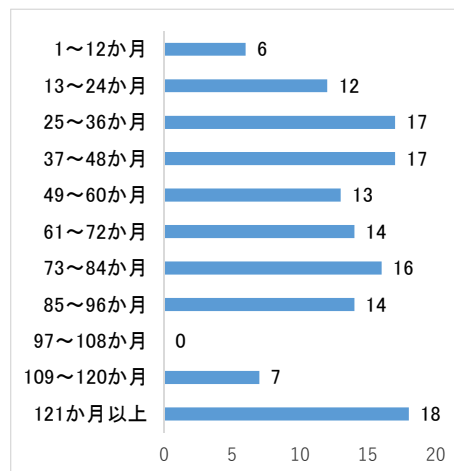
※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」  
 ※なお、複数の企業に在籍（出向含む）された方は、在籍期間は合算してご記入ください。

企業数	度数	%
TOTAL	134	100.0
1	80	59.7
2	32	23.9
3	14	10.4
4	4	3.0
5	4	3.0
平均値	1.7	—
中央値	1	—



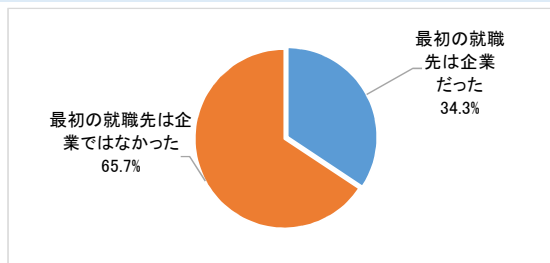
在籍期間

	度数
1～12か月	6
13～24か月	12
25～36か月	17
37～48か月	17
49～60か月	13
61～72か月	14
73～84か月	16
85～96か月	14
97～108か月	0
109～120か月	7
121か月以上	18
合計	134



### Q9\_2 司法修習終了後最初の就職先は企業でしたか。

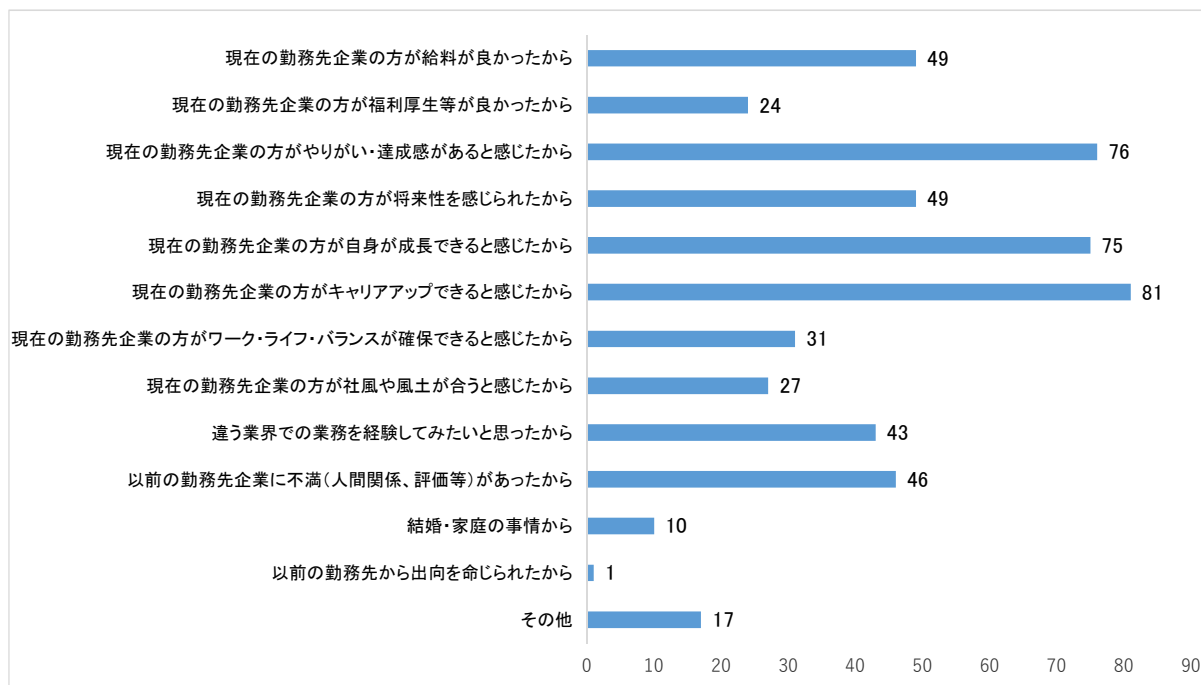
	度数	%
TOTAL	134	100.0
最初の就職先は企業だった	46	34.3
最初の就職先は企業ではなかった	88	65.7



### Q9\_3 以前の勤務先企業から現在の勤務先企業へ転職・転籍された理由を、いくつかもお選びください。

	度数	%
TOTAL	134	—
現在の勤務先企業の方が給料が良かったから	49	36.6
現在の勤務先企業の方が福利厚生等が良かったから	24	17.9
現在の勤務先企業の方がやりがい・達成感があると感じたから	76	56.7
現在の勤務先企業の方が将来性を感じられたから	49	36.6
現在の勤務先企業の方が自身が成長できると感じたから	75	56.0
現在の勤務先企業の方がキャリアアップできると感じたから	81	60.4
現在の勤務先企業の方がワーク・ライフ・バランスが確保できると感じたから	31	23.1
現在の勤務先企業の方が社風や風土が合うと感じたから	27	20.1
違う業界での業務を経験してみたいと思ったから	43	32.1
以前の勤務先企業に不満(人間関係、評価等)があったから	46	34.3
結婚・家庭の事情から	10	7.5
以前の勤務先から出向を命じられたから	1	0.7
その他	17	12.7

その他詳細省略



司法修習終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴（弁護士法第5条の規定による弁護士の方は、5条研修終了後、現在の勤務先企業に勤める前までの経歴）に関して、あなたは以下を経験したとお答えになりました。

**Q10 あなたが経験した経歴の在籍・在職期間をお答えください。**

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

※なお、同一のキャリアに対して、複数在籍された方は、在籍期間は合算してご記入ください。

	企業勤務 (非法務)	海外留学	官公庁勤務	大学院在籍	法律系の士業 (司法書士、弁理士等)	会計系の士業 (公認会計士、税理士等)
1～12か月	5	10	2	4	0	0
13～24か月	2	27	11	2	0	0
25～36か月	4	5	9	1	0	0
37～48か月	2	1	3	1	0	0
49～60か月	0	0	7	1	0	0
61～72か月	1	0	2	0	0	0
73～84か月	0	0	0	0	0	0
85～96か月	1	0	0	0	0	0
97～108か月	0	0	0	0	0	0
109～120か月	0	0	0	0	0	0
121か月以上	5	0	0	0	0	0
合計	20	43	34	9	0	0

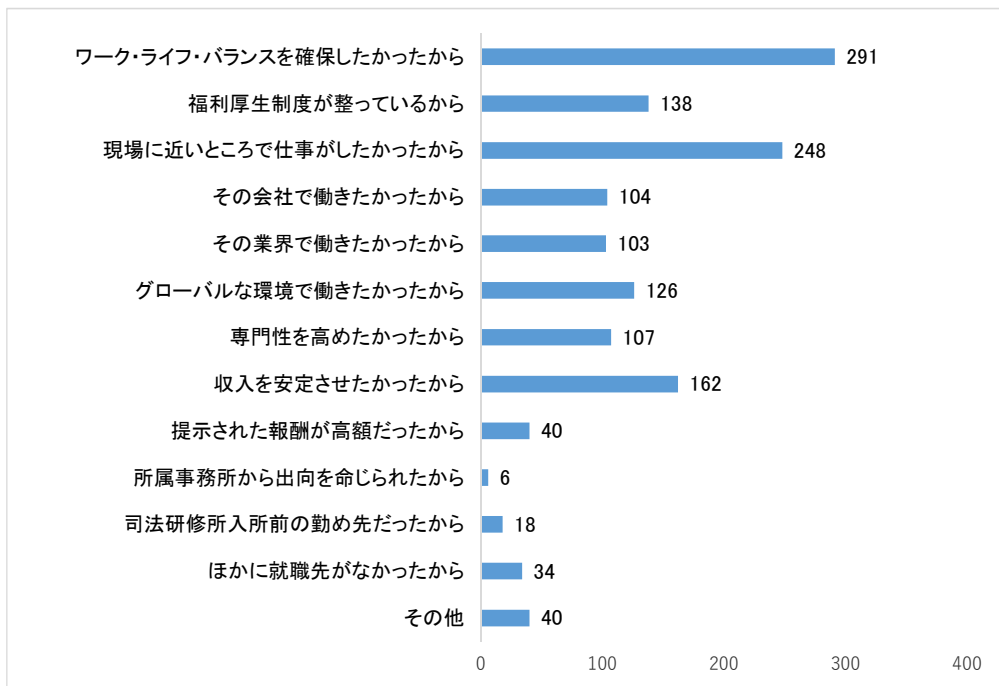
  

	大学教員	その他
1～12か月	2	4
13～24か月	0	3
25～36か月	2	1
37～48か月	0	0
49～60か月	0	1
61～72か月	0	0
73～84か月	1	1
85～96か月	0	0
97～108か月	0	0
109～120か月	0	0
121か月以上	0	1
合計	5	11

**Q11 あなたが企業内弁護士を選んだ理由を、いくつでもお選びください。**

	度数	%
TOTAL	450	—
ワーク・ライフ・バランスを確保したかったから	291	64.7
福利厚生制度が整っているから	138	30.7
現場に近いところで仕事がしたかったから	248	55.1
その会社で働きたかったから	104	23.1
その業界で働きたかったから	103	22.9
グローバルな環境で働きたかったから	126	28.0
専門性を高めたかったから	107	23.8
収入を安定させたかったから	162	36.0
提示された報酬が高額だったから	40	8.9
所属事務所から出向を命じられたから	6	1.3
司法研修所入所前の勤め先だったから	18	4.0
ほかに就職先がなかったから	34	7.6
その他	40	8.9

その他詳細省略



◆あなたの現在の勤務先企業についてお聞きします。

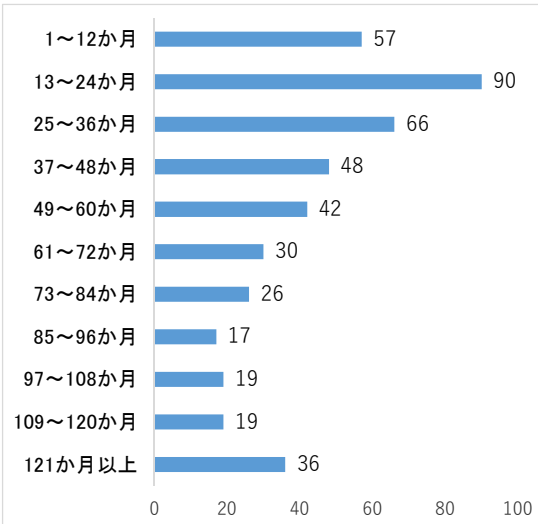
Q12 現在の勤務先企業での勤務期間（月数）をお答えください。

※出産、育児、介護等によって就業を中断した後に復職した場合、通算の期間をお答えください。

※回答例：1年6か月の場合→「18か月」、2年3か月の場合→「27か月」、15年の場合→「180か月」

在籍期間

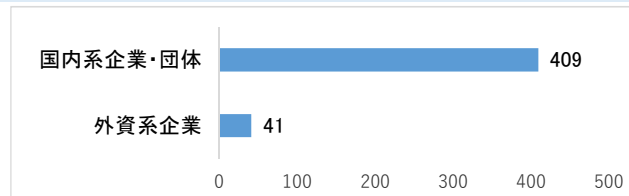
	度数
1～12か月	57
13～24か月	90
25～36か月	66
37～48か月	48
49～60か月	42
61～72か月	30
73～84か月	26
85～96か月	17
97～108か月	19
109～120か月	19
121か月以上	36
合計	450



Q13 勤務先企業は、国内系企業・団体、外資系企業のいずれに該当しますか。

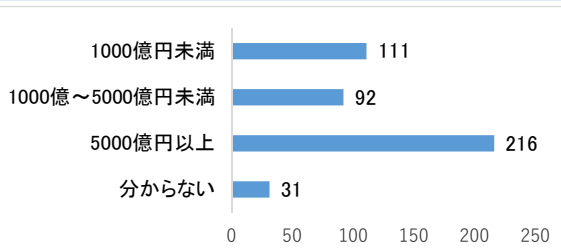
※この質問における「外資系企業」とは、日本国外に本店又は親会社があり、日本にその支店又は子会社がある企業を指します。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
国内系企業・団体	409	90.9
外資系企業	41	9.1



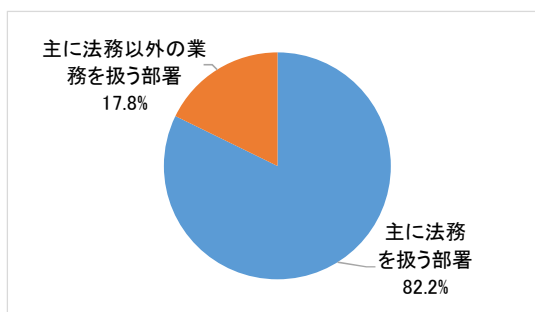
Q14 勤務先企業の前年度の売上額（親会社・子会社を合わせたグループ全体の連結ベース）は、下記のどれに該当しますか。当てはまるものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
1000億円未満	111	24.7
1000億～5000億円未満	92	20.4
5000億円以上	216	48.0
分からない	31	6.9



Q15 あなたの現在の配属部署は主に法務を扱う部署ですか。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
主に法務を扱う部署	370	82.2
主に法務以外の業務を扱う部署	80	17.8





**Q16 あなたの所属部署のあなたを含めた所属人数をそれぞれお答えください。**  
現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています。

(1) 所属部署全体の人数

	度数	%
TOTAL	370	100.0
4	28	7.6
5	26	7.0
3	25	6.8
30	23	6.2
6	21	5.7
1	19	5.1
20	19	5.1
8	18	4.9
10	17	4.6
7	16	4.3
9	13	3.5
2	12	3.2
15	11	3.0
40	10	2.7
14	9	2.4
60	9	2.4
12	7	1.9
16	7	1.9
50	7	1.9
11	6	1.6
13	6	1.6
18	6	1.6
25	6	1.6
23	5	1.4
17	4	1.1
19	3	0.8
24	3	0.8
27	3	0.8
21	2	0.5
22	2	0.5
26	2	0.5
33	2	0.5
34	2	0.5
36	2	0.5
80	2	0.5
90	2	0.5
120	2	0.5
28	1	0.3
29	1	0.3
32	1	0.3
39	1	0.3
41	1	0.3
43	1	0.3
45	1	0.3
70	1	0.3
111	1	0.3
130	1	0.3
160	1	0.3
300	1	0.3
450	1	0.3
平均値	19.1	—
中央値	10	—

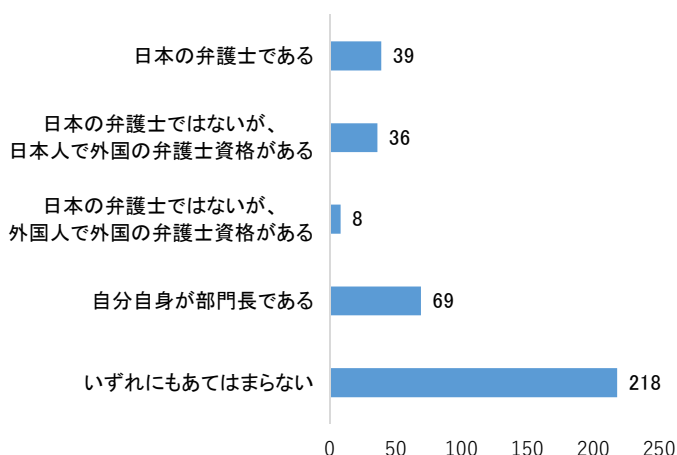
(2) うち日本の弁護士の数

	度数	%
TOTAL	370	100.0
1	145	39.2
2	73	19.7
3	37	10.0
4	34	9.2
5	14	3.8
6	11	3.0
10	11	3.0
7	9	2.4
8	8	2.2
9	6	1.6
14	3	0.8
20	3	0.8
12	2	0.5
15	2	0.5
19	2	0.5
28	2	0.5
30	2	0.5
11	1	0.3
13	1	0.3
17	1	0.3
18	1	0.3
22	1	0.3
24	1	0.3
平均値	3.7	—
中央値	2	—

**Q17 部門長について、1つお選びください。ご自身が部門長である場合は、「自分自身が部門長である」をお選びください。**

現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています。

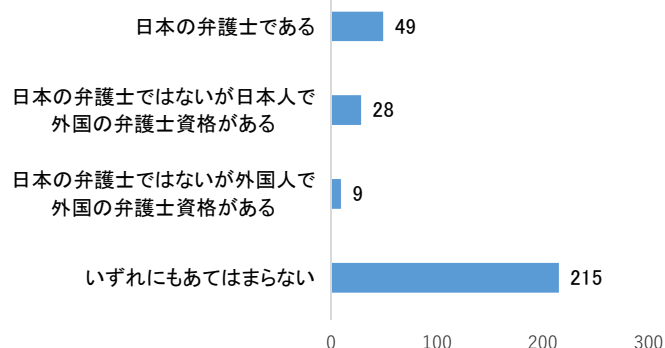
	度数	%
TOTAL	370	100.0
日本の弁護士である	39	10.5
日本の弁護士ではないが、日本人で外国の弁護士資格がある	36	9.7
日本の弁護士ではないが、外国人で外国の弁護士資格がある	8	2.2
自分自身が部門長である	69	18.6
いずれにもあてはまらない	218	58.9



**Q18 直属の上司について、1つお選びください。**

現在の勤務先企業の所属部署は、「主に法務を扱う部署」とお答えになっています（Q17で「自分自身が部門長である」と回答した人を除く）。

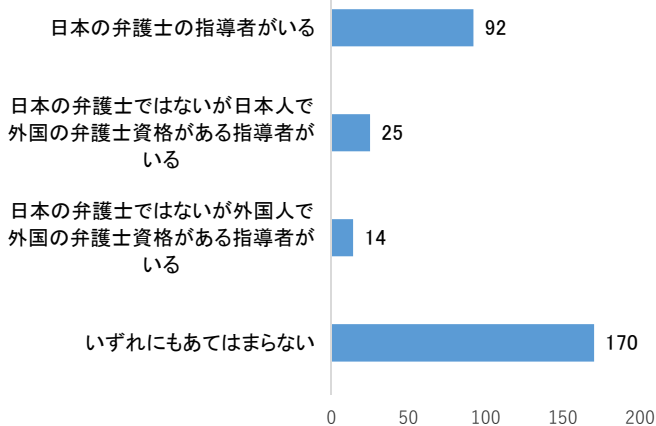
	度数	%
TOTAL	301	100.0
日本の弁護士である	49	16.3
日本の弁護士ではないが日本人で外国の弁護士資格がある	28	9.3
日本の弁護士ではないが外国人で外国の弁護士資格がある	9	3.0
いずれにもあてはまらない	215	71.4



**Q19 所属部署にあなたを指導できる立場にある弁護士等（上司、先輩）はいますか。**

（Q17で「自分自身が部門長である」と回答した人を除く）

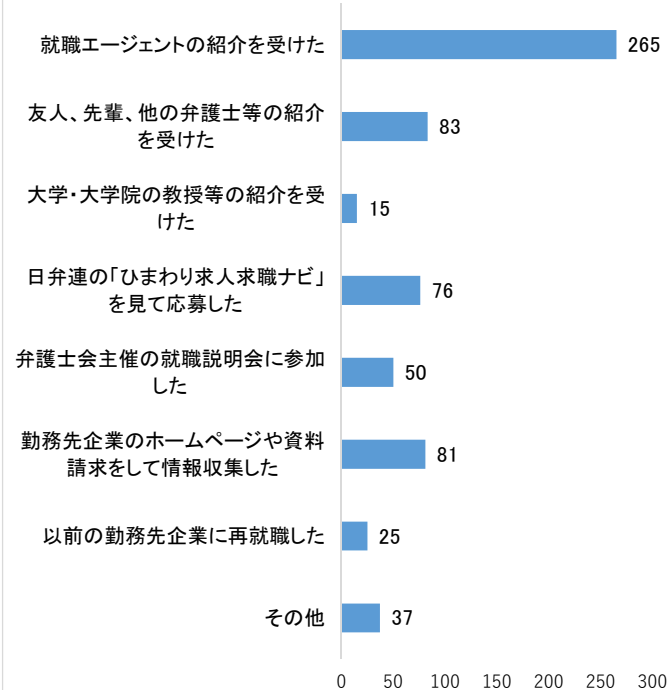
	度数	%
TOTAL	301	100.0
日本の弁護士の指導者がいる	92	30.6
日本の弁護士ではないが日本人で外国の弁護士資格がある指導者がいる	25	8.3
日本の弁護士ではないが外国人で外国の弁護士資格がある指導者がいる	14	4.7
いずれにもあてはまらない	170	56.5



Q20 あなたが現在の勤務先企業に就職する際に行った就職活動について、役に立ったものを3つまでお選びください。

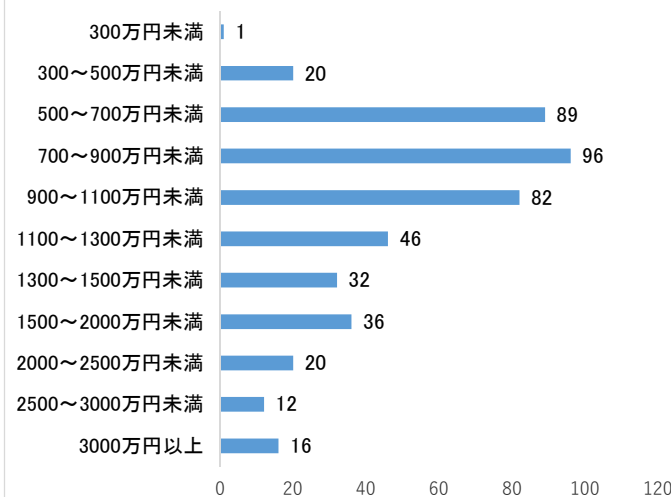
	度数	%
TOTAL	450	—
就職エージェントの紹介を受けた	265	58.9
友人、先輩、他の弁護士等の紹介を受けた	83	18.4
大学・大学院の教授等の紹介を受けた	15	3.3
日弁連の「ひまわり求人求職ナビ」を見て応募した	76	16.9
弁護士会主催の就職説明会に参加した	50	11.1
勤務先企業のホームページや資料請求をして情報収集した	81	18.0
以前の勤務先企業に再就職した	25	5.6
その他	37	8.2

その他詳細省略



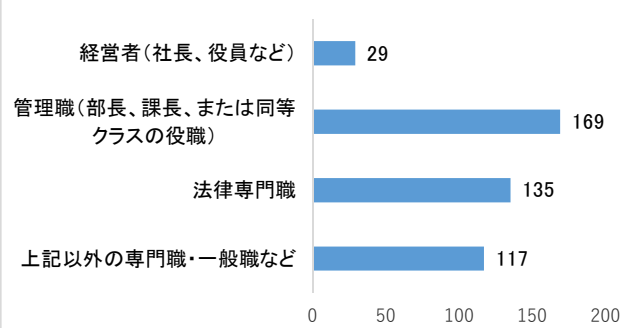
Q21 あなたが勤務先企業から昨年1年間で得た収入（税込）はおよそどのくらいでしたか。1つお選びください。勤務が1年に満たない場合は、1年間勤務した場合としてお考えください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
300万円未満	1	0.2
300～500万円未満	20	4.4
500～700万円未満	89	19.8
700～900万円未満	96	21.3
900～1100万円未満	82	18.2
1100～1300万円未満	46	10.2
1300～1500万円未満	32	7.1
1500～2000万円未満	36	8.0
2000～2500万円未満	20	4.4
2500～3000万円未満	12	2.7
3000万円以上	16	3.6



Q22 現在の勤務先企業でのポジションについてお聞きます。以下のうち、当てはまるものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
経営者（社長、役員など）	29	6.4
管理職（部長、課長、または同等クラスの役職）	169	37.6
法律専門職	135	30.0
上記以外の専門職・一般職など	117	26.0



Q23 あなたの業務のうち、法務に関するものの割合（％）はどの程度ですか。その割合（％）について、お答えください。

※法務＋非法務の割合が、合計で100%になるようにお答えください。

(1) 法務（％）

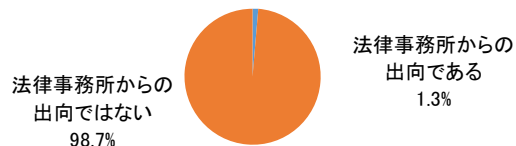
法務（％）	度数	％
TOTAL	450	100.0
0	12	2.7
1	1	0.2
3	1	0.2
5	4	0.9
10	20	4.4
15	2	0.4
20	12	2.7
25	3	0.7
30	14	3.1
35	1	0.2
40	8	1.8
50	20	4.4
55	1	0.2
60	19	4.2
65	1	0.2
70	43	9.6
75	1	0.2
80	56	12.4
85	4	0.9
90	66	14.7
95	10	2.2
98	1	0.2
99	1	0.2
100	149	33.1
平均値	74.4	—
中央値	90	—

(2) 非法務（％）

非法務（％）	度数	％
TOTAL	450	100.0
0	149	33.1
1	1	0.2
2	1	0.2
5	10	2.2
10	66	14.7
15	4	0.9
20	56	12.4
25	1	0.2
30	43	9.6
35	1	0.2
40	19	4.2
45	1	0.2
50	20	4.4
60	8	1.8
65	1	0.2
70	14	3.1
75	3	0.7
80	12	2.7
85	2	0.4
90	20	4.4
95	4	0.9
97	1	0.2
99	1	0.2
100	12	2.7
平均値	25.6	—
中央値	10	—

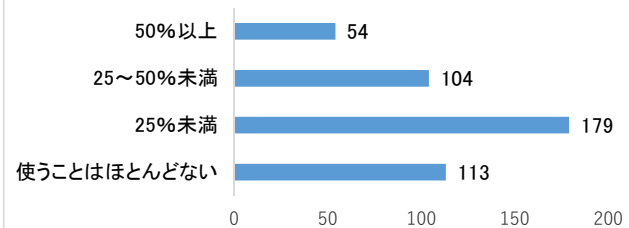
Q24 あなたは法律事務所からの出向で勤務していますか。

	度数	％
TOTAL	450	100
法律事務所からの出向である	6	1.3
法律事務所からの出向ではない	444	98.7



Q25 業務における外国語を用いる割合についてお聞きします。以下のうち、当てはまるものを1つお選びください。

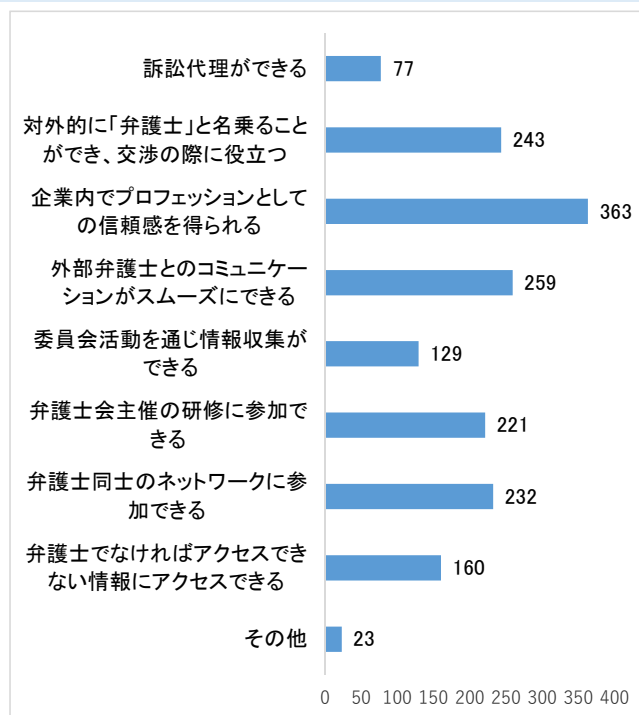
	度数	％
TOTAL	450	100.0
50%以上	54	12.0
25～50%未満	104	23.1
25%未満	179	39.8
使うことはほとんどない	113	25.1



Q26 企業内弁護士として仕事をする上で、弁護士登録をされていてよかったと思う点がありますか。当てはまるものをいくつでもお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	—
訴訟代理ができる	77	17.1
対外的に「弁護士」と名乗ることができ、交渉の際に役立つ	243	54.0
企業内でプロフェッションとしての信頼感を得られる	363	80.7
外部弁護士とのコミュニケーションがスムーズにできる	259	57.6
委員会活動を通じ情報収集ができる	129	28.7
弁護士会主催の研修に参加できる	221	49.1
弁護士同士のネットワークに参加できる	232	51.6
弁護士でなければアクセスできない情報にアクセスできる	160	35.6
その他	23	5.1

その他詳細省略



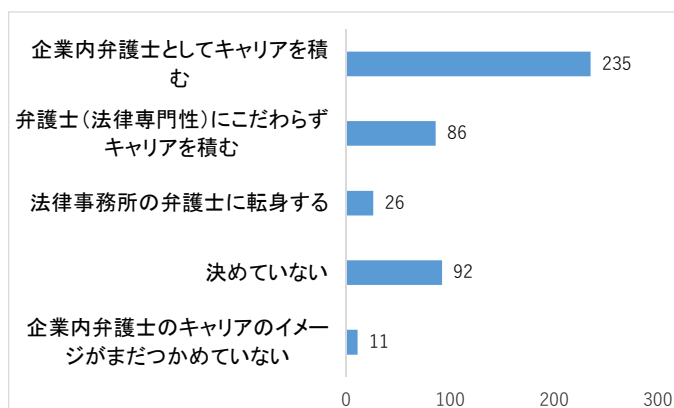
Q27 現在の仕事に対してどの程度満足していますか。それぞれの項目について当てはまるものを1つずつお選びください。

	TOTAL	大変満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	かなり不満
業務内容	450 100.0	100 22.2	242 53.8	57 12.7	44 9.8	7 1.6
専門性・スキルアップ	450 100.0	81 18.0	227 50.4	64 14.2	65 14.4	13 2.9
年収	450 100.0	55 12.2	208 46.2	102 22.7	71 15.8	14 3.1
ワーク・ライフ・バランス	450 100.0	187 41.6	171 38.0	53 11.8	35 7.8	4 0.9

◆あなたの今後のキャリアに対する考え方についてお聞きます。

Q28 今後どのようなキャリアをイメージしていますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	100.0
企業内弁護士としてキャリアを積む	235	52.2
弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む	86	19.1
法律事務所の弁護士に転身する	26	5.8
決めていない	92	20.4
企業内弁護士のキャリアのイメージがまだつかめていない	11	2.4

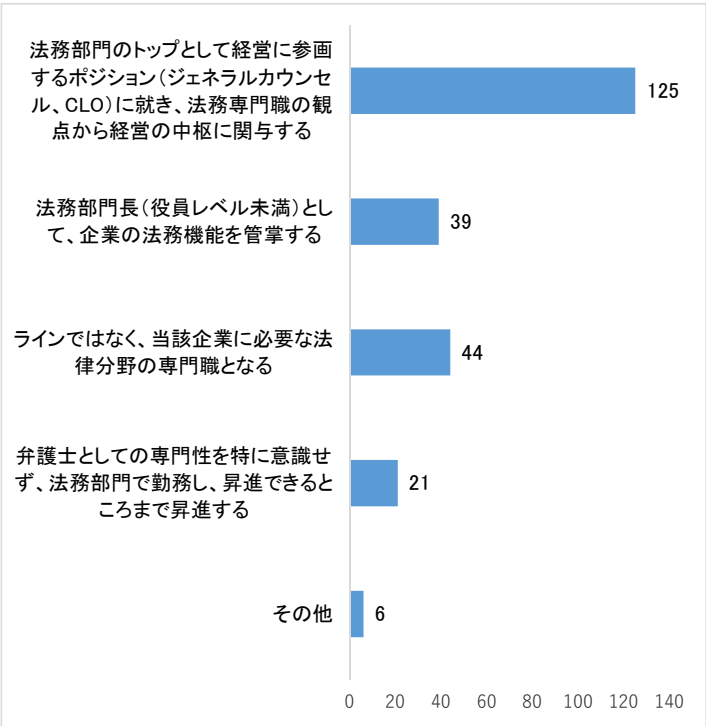


今後のキャリアに関して、あなたは「企業内弁護士としてキャリアを積む」とお答えになりました。

Q29 具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	235	100.0
法務部門のトップとして経営に参画するポジション（ジェネラルカウンスル、CLO）に就き、法務専門職の観点から経営の中枢に関与する	125	53.2
法務部門長（役員レベル未満）として、企業の法務機能を管掌する	39	16.6
ラインではなく、当該企業に必要な法律分野の専門職となる	44	18.7
弁護士としての専門性を特に意識せず、法務部門で勤務し、昇進できるところまで昇進する	21	8.9
その他	6	2.6

その他詳細省略



Q29.2 「企業内弁護士としてキャリアを積む」と考える理由は何ですか。  
※300文字以内でご記入ください。

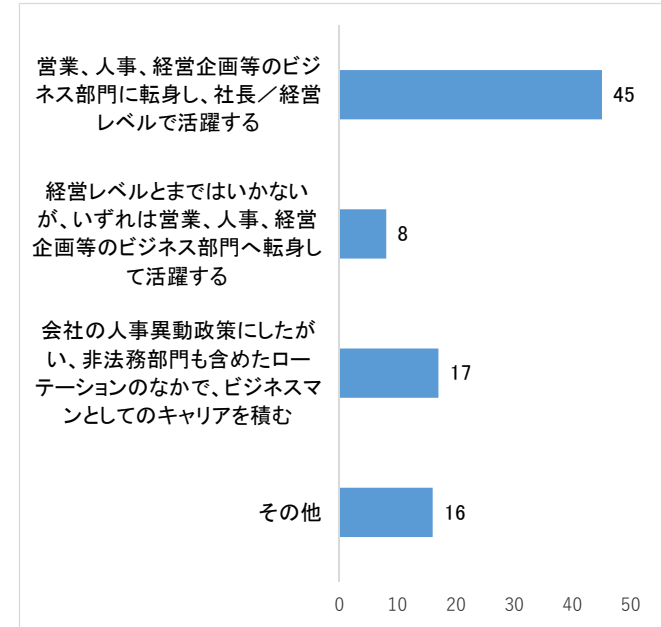
※省略

今後のキャリアに関して、あなたは「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」とお答えになりました。

Q30 具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	86	100.0
営業、人事、経営企画等のビジネス部門に転身し、社長／経営レベルで活躍する	45	52.3
経営レベルとまではいかないが、いずれは営業、人事、経営企画等のビジネス部門へ転身して活躍する	8	9.3
会社の人事異動政策にしたがい、非法務部門も含めたローテーションのなかで、ビジネスマンとしてのキャリアを積む	17	19.8
その他	16	18.6

その他詳細省略



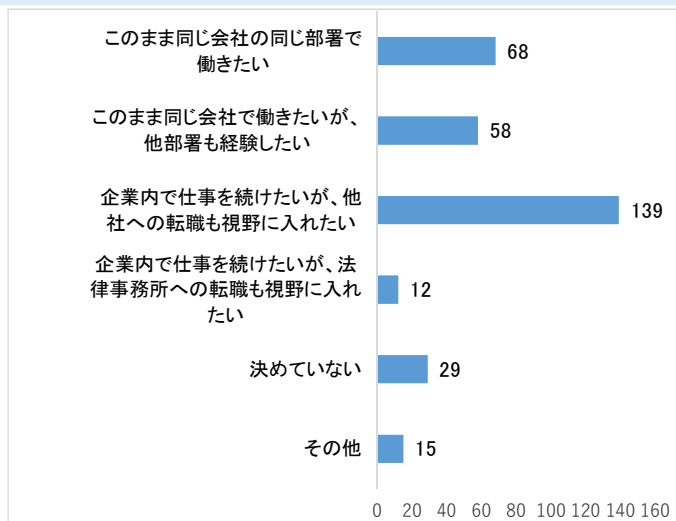
Q30.2 「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」と考える理由は何ですか。  
※300文字以内でご記入ください。

※省略

Q31 今後のキャリアに関して、あなたは「企業内弁護士としてキャリアを積む」または「弁護士（法律専門性）にこだわらずキャリアを積む」とお答えになりました。将来の展望について、最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	321	100.0
このまま同じ会社の同じ部署で働きたい	68	21.2
このまま同じ会社で働きたいが、他部署も経験したい	58	18.1
企業内で仕事を続けたいが、他社への転職も視野に入れたい	139	43.3
企業内で仕事を続けたいが、法律事務所への転職も視野に入れたい	12	3.7
決めていない	29	9.0
その他	15	4.7

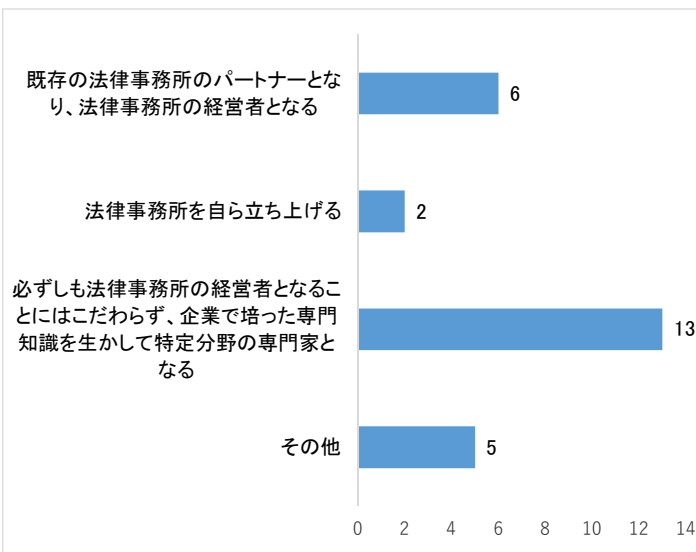
その他詳細省略



Q32 今後のキャリアに関して、あなたは「法律事務所の弁護士に転身する」とお答えになりました。具体的にはどのようなキャリアを目指していますか。最も近いものを1つお選びください。

	度数	%
TOTAL	26	100.0
既存の法律事務所のパートナーとなり、法律事務所の経営者となる	6	23.1
法律事務所を自ら立ち上げる	2	7.7
必ずしも法律事務所の経営者となることにはこだわらず、企業で培った専門知識を生かして特定分野の専門家となる	13	50.0
その他	5	19.2

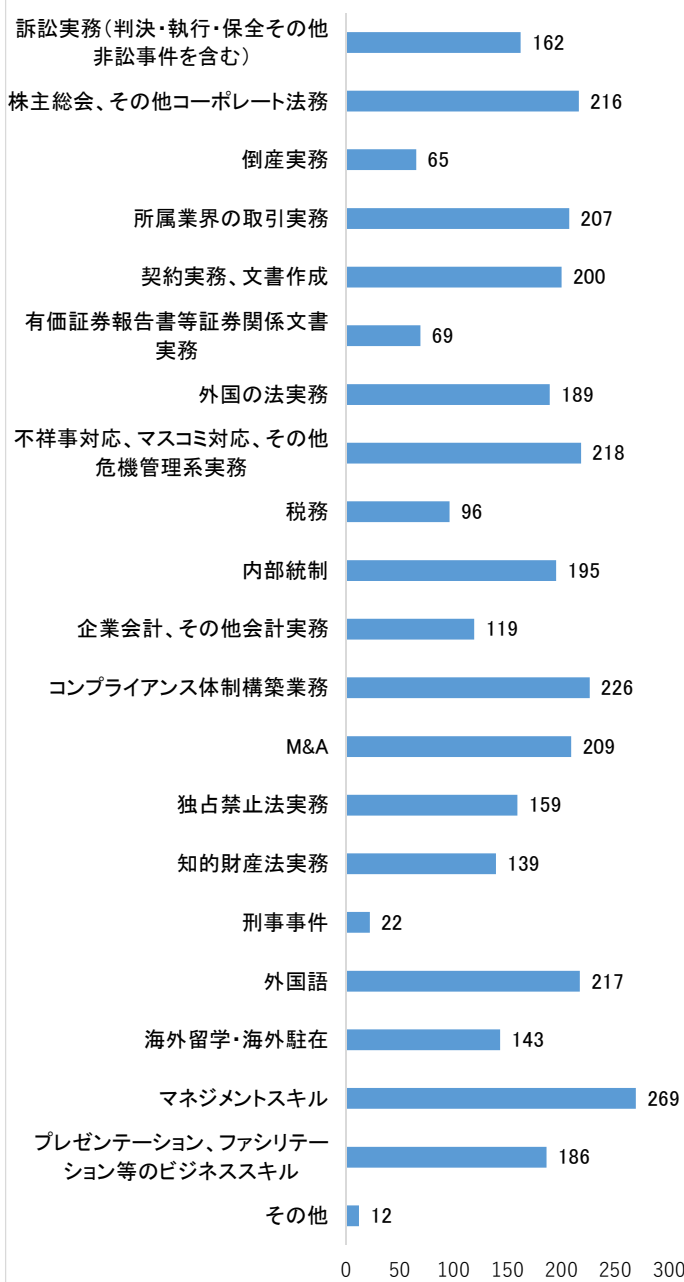
その他詳細省略



Q33 今後のキャリアアップのために有益であり、取り組みたいと思う事項は次のうちどれですか。  
当てはまるものをすべてお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	—
訴訟実務（判決・執行・保全その他非訟事件を含む）	162	36.0
株主総会、その他コーポレート法務	216	48.0
倒産実務	65	14.4
所属業界の取引実務	207	46.0
契約実務、文書作成	200	44.4
有価証券報告書等証券関係文書実務	69	15.3
外国の法実務	189	42.0
不祥事対応、マスコミ対応、その他危機管理系実務	218	48.4
税務	96	21.3
内部統制	195	43.3
企業会計、その他会計実務	119	26.4
コンプライアンス体制構築業務	226	50.2
M&A	209	46.4
独占禁止法実務	159	35.3
知的財産法実務	139	30.9
刑事事件	22	4.9
外国語	217	48.2
海外留学・海外駐在	143	31.8
マネジメントスキル	269	59.8
プレゼンテーション、ファシリテーション等のビジネススキル	186	41.3
その他	12	2.7

その他詳細省略

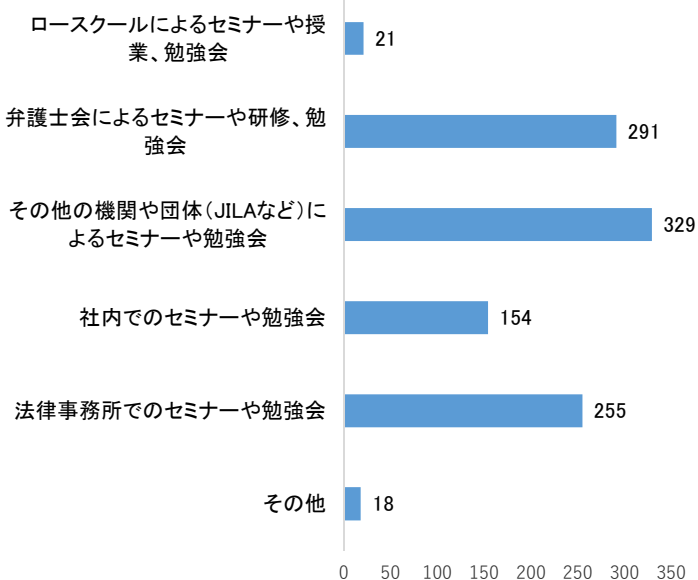




Q34 あなたは、法務・非法務を問わず、今どのような研修を利用していますか。当てはまるものをすべてお選びください。

	度数	%
TOTAL	450	—
ロースクールによるセミナーや授業、勉強会	21	4.7
弁護士会によるセミナーや研修、勉強会	291	64.7
その他の機関や団体（JILAなど）によるセミナーや勉強会	329	73.1
社内でのセミナーや勉強会	154	34.2
法律事務所でのセミナーや勉強会	255	56.7
その他	18	4.0

その他詳細省略



Q34\_2 あなたは、法務・非法務を問わず、どのような研修・セミナー等が必要だとお考えですか。  
※300文字以内でご記入ください。

※省略

Q35 将来のキャリアに関する期待と不安についてお聞きます。それぞれの項目について当てはまるものを1つお選びください。

	TOTAL	期待がある	どちらかという期待がある	どちらでもない	どちらかという不安がある	不安がある
ビジネスを遂行する過程に関わる中で、ビジネス活動の一翼を担う者として成長できる	450 100.0	175 38.9	200 44.4	40 8.9	22 4.9	13 2.9
その業種特有の専門性を高めることができる	450 100.0	155 34.4	194 43.1	67 14.9	23 5.1	11 2.4
自分の知識・経験・専門性を仕事に活かすことができる	450 100.0	164 36.4	206 45.8	41 9.1	31 6.9	8 1.8
企業をめぐる法務問題全般を見ることができるので、企業法務専門家としてバランスのとれた経験を積むことができる	450 100.0	159 35.3	192 42.7	60 13.3	28 6.2	11 2.4
法律外の問題や社内調整など法的業務以外の仕事も担う中で成長できる	450 100.0	151 33.6	200 44.4	78 17.3	16 3.6	5 1.1
今の業種／企業以外でも通用する法律家になることができる	450 100.0	93 20.7	133 29.6	113 25.1	81 18.0	30 6.7
指導者や研修環境に恵まれており、法律専門家として成長できる	450 100.0	34 7.6	101 22.4	149 33.1	98 21.8	68 15.1
組織内でキャリアパスができており、将来について具体的なイメージを描くことができる	450 100.0	33 7.3	82 18.2	149 33.1	103 22.9	83 18.4
組織内での信頼を獲得し、組織人として成功することができる	450 100.0	104 23.1	202 44.9	110 24.4	28 6.2	6 1.3
弁護士であることが今後組織内で信頼を得ていく一つの要素となっていくと感じられる	450 100.0	118 26.2	187 41.6	89 19.8	41 9.1	15 3.3
ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができる	450 100.0	168 37.3	179 39.8	61 13.6	31 6.9	11 2.4
待遇面での向上が見込める	450 100.0	59 13.1	155 34.4	152 33.8	57 12.7	27 6.0

Q36 将来のキャリアについてこれ以外の期待や不安があれば記載してください。

※省略